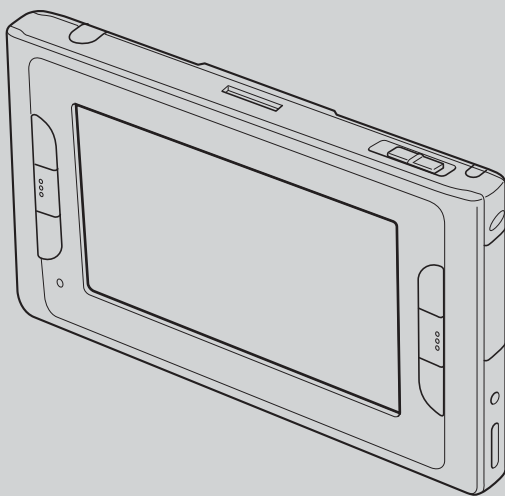
プレミアムナビゲーション
Premium Navigation

DTN-V001

取扱説明書

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが､万一ご不審な点や誤り､記載漏れなどがございましたら､弊社サポートセンターまでご連絡ください。
④弊社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

マップコード、MAPCODE は株式会社デンソーの登録商標です。

SD ロゴは商標です。

本書に記載の社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警 告　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

 注 意　**この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害発生が想定される内容を示しています。**

🚫記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意［本体］

警　告

- 付属のシガー電源アダプターは、必ず DC 12 V 車または DC 24 V 車で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。
  本機は DC 12 V 車または DC 24 V 車（大型トラックなど）以外には使用できません。
- 付属の AC アダプターは、必ず交流（AC） 100V で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

- 運転に支障をきたす場所には、絶対に取り付けないでください。運転に支障をきたす場所（ハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル付近など）への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けないでください。エアバックの動作を妨げる場所への取り付けは、緊急時のエアバックの不動作やエアバックが膨らむ際に本機が外れて交通事故やけがの原因になります。
- 前方・後方の視界やバックミラーを妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所へは取り付けないでください。交通事故やけがの原因になります。
- 実際の交通規制に従って走行してください。交通事故やけがなどの原因になります。
  ルート誘導中でも、必ず道路標識など実際の交通規制に従って運転してください。
  時間の経過により、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。
  ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

- 運転中や歩行中は画面を見たり、ナビゲーションの操作をしないでください。交通事故やけがの原因となります。運転中は安全な場所に停車し、歩行中は安全な場所に立ち止まってから画面を見てください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警　告

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場での
使用禁止

- 雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水濡れ禁止

- 濡れた手でシガー電源アダプターまたは AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

濡れ手接触
禁止

- シガー電源アダプターまたは AC アダプターをタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、シガー電源アダプターまたは AC アダプターの電源コードが傷ついた場合は、機器本体の電源スイッチを切り、シガー電源アダプターまたは AC アダプターをご使用の際は、必ずそれらのアダプターを抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- タッチスクリーン部に強い力を加えたり、鋭利なもので押さないでください。タッチスクリーン部が破損する原因となります。

安全上のご注意

警　告

- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・設備・修理はサポートセンターにご依頼ください。
- この機器および付属のシガー電源アダプター、AC アダプターは、改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。コードが破損して火災・感電の原因となることがあります。

分解禁止

注　意

- 付属のシガー電源アダプターは、車のシガープラグに直接接続してください。シガープラグを分岐させたアダプターには、接続しないでください。火災や故障の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターは、家庭用の交流（AC）100V で使用してください。DC/AC コンバータのように電源を変換した機器には、接続しないでください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 付属のシガー電源アダプターまたは AC アダプターを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- シガー電源アダプターを取り付けた状態で、エンジンのセルスターターを動作させた場合、保証電圧範囲を超えた電圧変動が起きる可能性があります。そのためシガー電源アダプターや本体の故障の原因となることも予測されます。エンジンを始動させる際にはシガー電源アダプターをソケットから取り外してから行うようにしてください。

注　意

- 運転中の音量は、周囲の音が聞こえる程度の音量にしてください。音量が大きくなり過ぎると、交通事故の原因となることがあります。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 本機の電源を入れたら、まず音量（ボリューム）を最適なレベルに調節してください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 車に取り付ける際には、必ず付属の取付キットを使って、指示通りに取り付けを行ってください。本機が正しく取り付けられていなかったり、他の器具にて本機が取り付けられていると、本機が落下して故障やけがの原因となることがあります。
- ETC のアンテナ部分や他の機器のアンテナやセンサー部分を隠すような取り付け方はしないでください。それらの機器が正常に働かない場合があります。
- タッチスクリーンは付属のスタイラスペンまたは指先を使って操作してください。他の機器用のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先、その他先の尖ったもの等でタッチスクリーンに触れると、誤動作やタッチスクリーンの故障の原因となることがあります。
- 変形したり、傷ついた SD カードを本機に入れないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。
- 万一、SD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。無理に取り出そうとすると本機の故障の原因となることがあります。
- FM トランスミッターをご使用の際は、通常の FM 放送と混信しないように、FM 放送がない周波数であることを確認してからトランスミッターの周波数を設定を ON にしてください。車で移動していると FM 放送のサービス範囲に入ってしまうことがあります。そうすると混信などの障害を発生させてしまいますので十分に注意してください。

重要

自動車を運転中に本機のワンセグ機能を操作、およびワンセグ放送を視聴することは、運転操作を誤る原因となります。非常に危険ですので絶対に行わないでください。

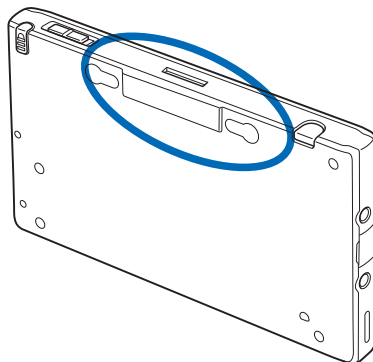
タッチスクリーンについて

- タッチスクリーンやタッチスクリーン外周を強く押さないでください。タッチスクリーンに強い圧力をかけると、有機 EL の劣化や有機 EL の故障の原因となります。お手入れの際にもお気をつけください。タッチスクリーンは有機 EL を使用しています。この有機 EL は高い品質管理の元に製造されておりますが、有機 EL のドット抜けおよび有機 EL の色むらが出ることがあります。これは有機 EL を使用したタッチスクリーンの特性によるもので本機の故障ではありません。また、有機 EL のドット抜けにより赤(または緑、青)色の点が表示されることがありますが、これも有機 EL パネルの特性によるもので本機の故障ではありません。
- 極端に温度の低い場所や高い場所に、本機を放置しますと有機 EL の劣化や有機 EL の故障の原因となります。
- タッチスクリーンを硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチスクリーンが傷つくおそれがあります。
- タッチスクリーンを固い布や強い力で拭かないでください。有機 EL の劣化や有機 EL パネルを傷つける原因となります。
- タッチスクリーンのお手入れは、次のように行ってください。
  - 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませてください。
  - 布をよく絞ってください。
  - 絞った布で、タッチスクリーンを強く押さないように、軽く拭いてください。
- パネルが破損した場合は、パネル内部には絶対に触れないでください。
- 現在の有機 EL パネル技術では、光沢パネルしか使用できません。そのため、周囲の映り込みのため、画面が見難いこともあります。その場合にはパネルの角度を調節するなどしてください。

ワンセグについて

- 本機の操作中などに、ワンセグ TV 用アンテナが目に刺さらないように注意してください。
- ワンセグ TV 用アンテナをお使いのときは、運転に支障をきたさないように伸ばしてください。
- ワンセグ TV 用アンテナに無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。
- ワンセグ TV の表示は、信号のデータ処理の方式により地上アナログ放送やフルセグの地上デジタル放送に比べて遅くなることがあります。従って、緊急地震速報などの緊急を要する情報に関しましては、他の方法も合わせてご利用されることをお勧めいたします。

内蔵 GPS アンテナについて

● 本機の上部に GPS アンテナが内蔵されています。従って、この部分を何かで覆われていたり、この上に遮蔽物があったりすると、本機の性能を充分に発揮することができません。

取付キットについて

● 取付キットは、運転に支障をきたさない位置、またエアバック等の安全装置の働きを妨げない位置にお取り付けください。また、お取り付けの際には、取り付けようとする場所の強度が充分にあるかをご確認ください。
● 取付キットは、その一部だけを使う、または他の器具と組み合わせて使うなどのご使用はおやめください。本機の落下する原因となることがあります。
● 吸盤付きステーの吸盤は、粘着性があるため、表面に細かなシワや凹凸のあるダッシュボードにも直接取り付けられます。安定した取り付けにするため、吸盤の取り付ける場所は、水平で滑らかな場所を選んでください。

SD カードについて

● 本機は、音楽、動画（ムービー）、画像データを SD カードに入れて使用します。
● 本機の電源が入っているときに、SD カードを抜き差ししないでください。本機の故障や誤動作の原因となることがあります。また、SD カード内のデータを破損や損失する恐れがあります。
● 本機で再生できるファイルを記憶するフォルダの制限はありません。
● ごくまれに、正常にお使いになっていても SD カード内のデータの一部または全てが読み取れなくなってしまうことがあります。この様な場合に備えて、SD カード内のデータはバックアップを取っておくようにお願いします。
● SD カードは付属されていません。市販の SD カードをご購入ください。

ナビゲーションの特徴

高性能！ルート探索＆誘導！

- 4GB の内蔵メモリに詳細市街図を搭載。10m スケールまでの多彩な地図表現を実現
- すでに日本国内でも実績のある、韓国の大手ナビゲーションメーカーである THE MAP 社製を使用
- 有料道路は専用のハイウェイモード、入口・分岐イラストでわかりやすくご案内！
- おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先などドライブプランに合わせた探索条件でドライブをサポートします。
- 交差点拡大、レーン情報や方面看板などでドライバーをアシストします。

多彩な地点検索機能！

- 日本全国番地までの住所検索やジャンル、周辺からのスポット検索はもちろん、キーワードによる名称検索や電話番号検索も標準装備。
  検索手段が豊富、だから探しやすい！
- 検索情報は約 3,450 万件！

見やすさに実績があるデジタル地図採用！

- 信頼の国産インクリメント P 社製デジタル地図を採用！
- 10m スケールまでの詳細市街図（主要都市のみ）を含む道路地図を、日本全国 14 段階でフルカバー！

その他の主な機能

- 経由地を指定するルート探索
- 地点登録機能
- 検索履歴機能
- オートリルート
- ヘディングアップ、ノースアップ、3D 表示の地図表示切替え
- 音声案内
- デモ走行（走行速度を 36km/h から 5 段階で手動設定可能）
- 予想到着時間、残距離を表示
- 地図上への店舗ロゴマーク表示
- ナビゲーション画面とワンセグ TV を同時に表示する TV-in-Navi が可能

操作説明について

ナビゲーション・ソフトは、タッチスクリーンの画面を触れることで操作を行います。この取扱説明書では、画面に触れることを「タッチする」と表現しています。

ワンセグ TV の特徴

- ワンセグ TV ボタンを使って、ワンセグ TV をワンタッチで表示可能。
- ナビゲーション画面への TV-in-Navi が可能。
- ワンセグ TV 用ロッドアンテナを内蔵。
- スキャン機能を使って視聴可能なチャンネルを検索。
- 受信したワンセグ TV の録画・再生が可能。(予約録画はできません)
- EPG (Electronic Program Guide：電子番組表)、字幕表示に対応

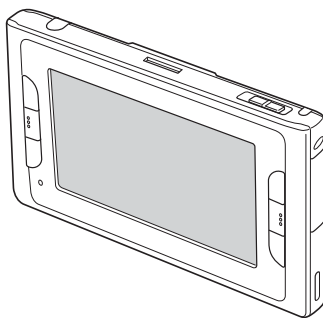
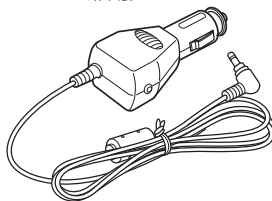
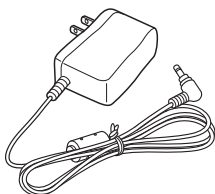
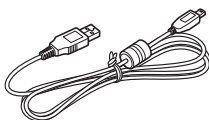
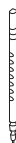
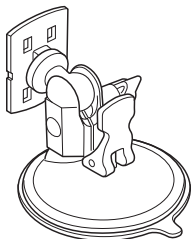
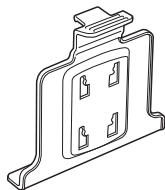
その他の特徴

- 音楽・ムービー・写真再生が可能
- 音楽リストから MP3、WMA、WAV ファイルの再生が可能
- 映像リストから MPG、XVID および WMV ファイルの再生が可能
  (但し、ファイルにより再生できない場合があります。)
- 写真リストから JPEG、BMP ファイルの再生が可能
  (但し、写真表示可能な最大ピクセル数：1000 × 800 (24bit/bmp)。)
- 音楽・ムービー・写真ファイルは、便利なリスト表示
- 日本語に対応
- 内蔵スピーカー、イヤホンの自動切り替え可能
- 4.1″ 有機 EL タッチスクリーン
- 内蔵リチウムポリマー充電池を使用し、約 2 時間※の動作が可能(ナビ表示画面状態にて)
  ※使用環境により、動作可能時間は異なります。
- バッテリー残量表示
- 本体の寸法は(突起物を含まず) (mm)：134 (W) × 79 (H) × 14 (D)
- 質量(重量)：約 184 g

パッケージ内容の確認

重要

- お買い求めになられて、ご使用の前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万一、不足がある場合は、弊社のサポートセンターまでご連絡ください。

- DTN-V001 パーソナルナビゲーション本体

- シガー電源アダプター（FM トランスミッター用アンテナ兼用）

- AC アダプター

- USB ケーブル

- スタイラスペン（本機背面に装着）

- 取付キット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー）

吸盤付きステー

本体固定ホルダー

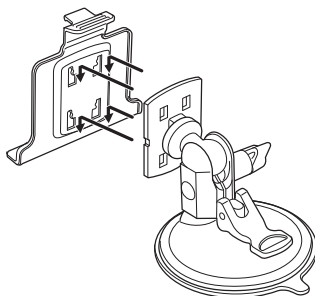
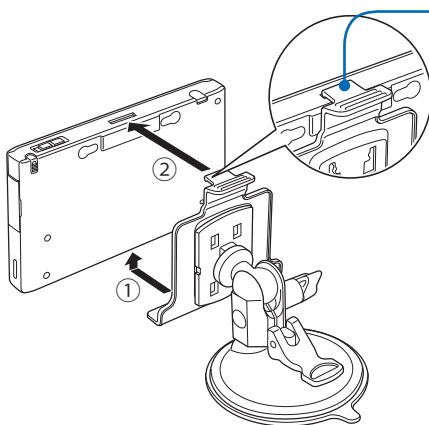
- 取扱説明書（本書）
- 保証書

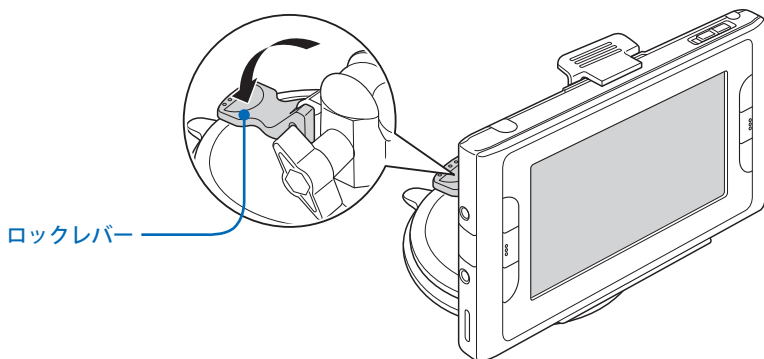
取付キットの使い方

付属の取付キット（吸盤付きステー、本体固定ホルダー）を使って、車などに本機を取り付けます。

警告

- 車などに取り付ける際には、運転に支障となる場所には取り付けないでください。
  交通事故やけがの原因となります。
- シートベルトやエアバック等の安全装置の働きを妨げる場所には、取り付けないでください。
  事故の際に、安全装置が働かず、けがの原因となります。

1 吸盤付きステーと本体固定ホルダーを取り付け、カチッという音が鳴るまでステー固定ホルダーを下側にスライドする

2 本機下部から本体固定ホルダーをはめ、次に上部側をはめる

3 吸盤付きステーのロックレバーを押し下げる

吸盤ベースから吸盤付きステーを外すには、ロックレバーを押し上げてから、吸盤部分のタブを上に引っ張ってください。

4 取り付けた各部位がしっかり固定されているか確認する

注意

- 取り付けの際には、必ず付属している器具や部品で取り付けてください。他の器具や部品を使うと、本機の脱落や本機を破損する恐れがあります。

電源を入れるには

警告

- 付属のシガー電源アダプターは、車のエンジンをスタートさせてから、接続してください。付属のシガー電源アダプターを接続させてから、車のエンジンをスタートさせると、急激な電圧変動により、本機の故障や不具合の原因となることがあります。

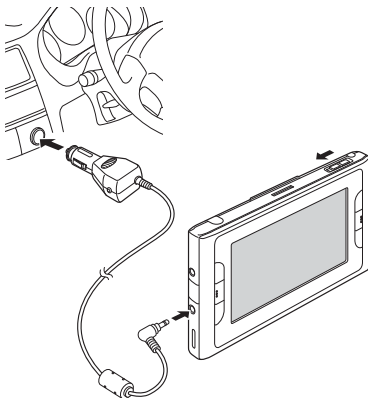
重要

- お買い求めになられた製品は充電されておりません。AC アダプターまたはシガー電源アダプターを接続してお使いいただくか、充電を行ってからお使いください。

警告

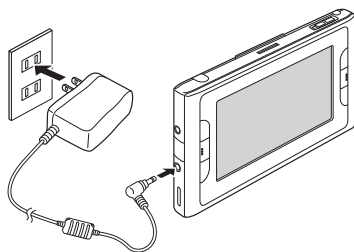
- 付属のシガー電源アダプターは 12V 車または 24 V 車でご使用になれます。電圧の異なる車で使用されると、発熱や故障の原因となります。お使いになる車の電圧が分からない場合は、車をお買い上げになった販売店等にお問い合わせください。
- 付属の AC アダプターは、必ず交流(AC) 100V で使用してください。他の電源で使用すると火災や故障の原因になります。

車内での使用

1 本機の充電端子と付属シガー電源アダプターの充電プラグを接続する

2 接続した付属シガー電源アダプターとシガーライタープラグを、車のシガーライターソケットに挿入する

3 本体右下の充電表示が赤色(または緑色)に点灯することを確認する。

室内での使用

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の充電端子と付属 AC アダプターの充電プラグを接続する

3 本体右下の充電表示が赤色(または緑色)に点灯することを確認する。

充電の仕方

重要

- 車種により、シガー電源アダプターで充電ができない場合や充電が完了にならない場合があります。

注意

- 本機の電源が入っているときに、付属の AC アダプターやシガー電源アダプターが抜けると、電源を切ることを確認する画面が出てきます。
  そのままお使いになるときは、[**いいえ**] をタッチしてください。[**はい**] をタッチするか、設定画面の "終了待機時間" で設定した時間になると電源は切れます。
  本体の電源が切れる前に AC アダプターまたはシガー電源アダプターを接続すると確認画面は消えます。

メモ

- バッテリー残量 / 充電表示は、以下のようになります。

：電池の残量を表示します。

：電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。

： 充電中です。

： 充電完了です。

シガー電源アダプターの場合

1 本機の充電端子と付属シガー電源アダプターの充電プラグを接続する

2 接続した付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットに挿入する

3 電池残量表示が充電中 表示に変化したことを確かめる

充電インジケーターは、赤色に点灯します。

4 電池残量表示が満充電 表示になったら、充電プラグを本機から外す

充電インジケーターは、緑色に点灯します。
初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

5 付属シガー電源アダプターのシガーライタープラグを車のシガーライターソケットから外す

6 付属シガー電源アダプターの充電プラグを本機の充電端子から外す

警告

- シガーライターソケットのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

注意

- シガーライターソケットから充電を行っている場合は、長時間エンジンを停止しないでください。車のバッテリーが上がる恐れがあります。
- 充電を行う場合は、本機の電源をオンのまま行うと時間がかかります。電源をオフの状態で行うことをお勧めします。

AC アダプターの場合

1 付属 AC アダプターの AC プラグを交流 100V のコンセントに接続する

2 本機の充電端子と付属 AC アダプターの充電プラグを接続する

3 電池残量表示が充電中 表示に変化したことを確かめる

充電インジケーターは、赤色に点灯します。

4 電池残量表示が満充電 表示になったら、充電プラグを本機から外す

充電インジケーターは、緑色に点灯します。初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、充電が完了するまで約 3 時間以上かかる場合があります。

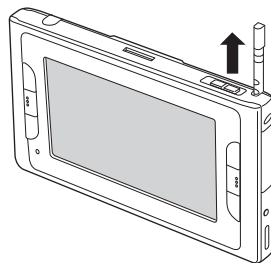
5 付属 AC アダプターの充電プラグを本機の充電端子から外す

6 交流 100V のコンセントから付属 AC アダプターの AC プラグを外す

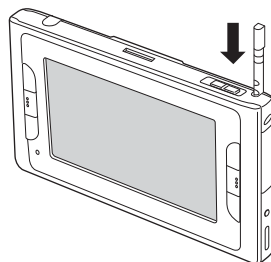
警告

- 付属 AC アダプターのタコ足配線はしないでください。火災や加熱によるやけどの原因となります。

スタイラスペンを使うには

1 本機の背面よりスタイラスペンを抜き出す

2 スタイラスペンを使って、タッチスクリーンをタッチする

3 スタイラスペンの向きに注意して、スタイラスペンを本機背面に戻す

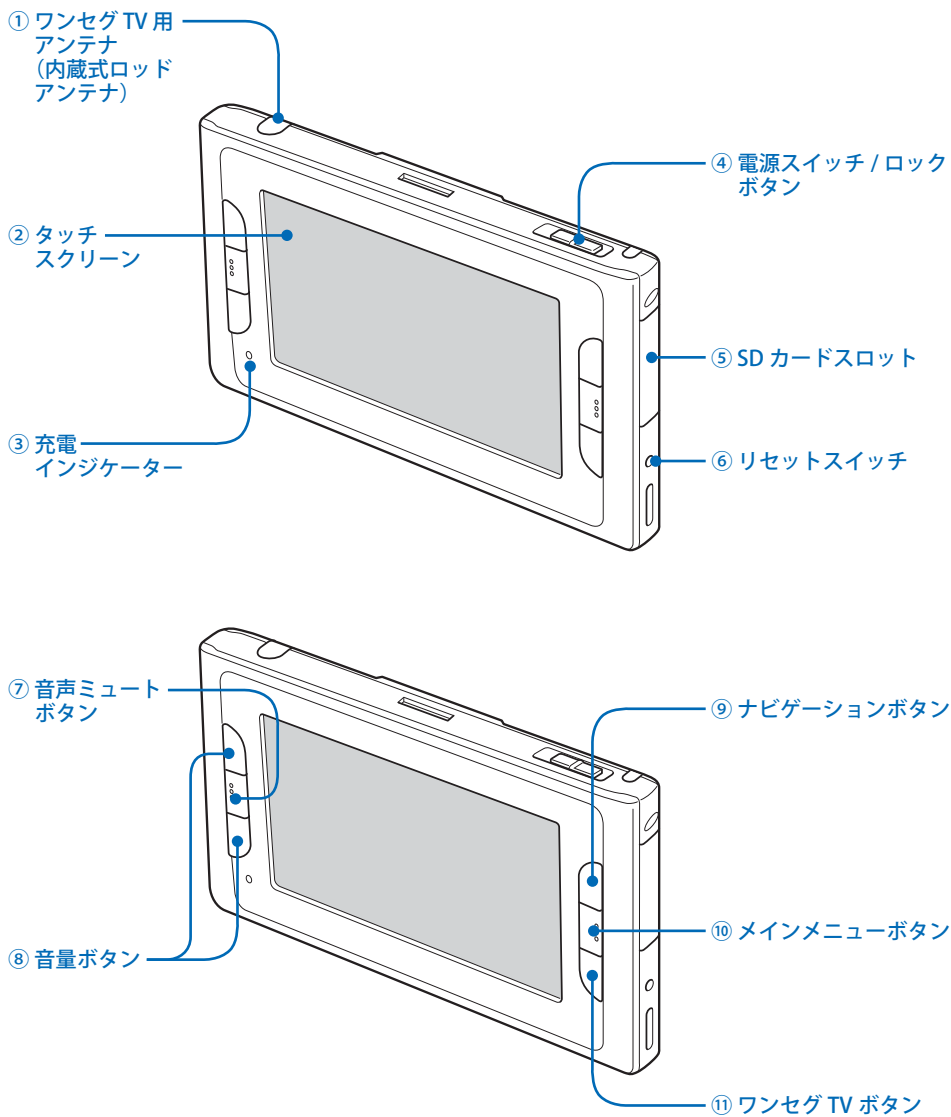
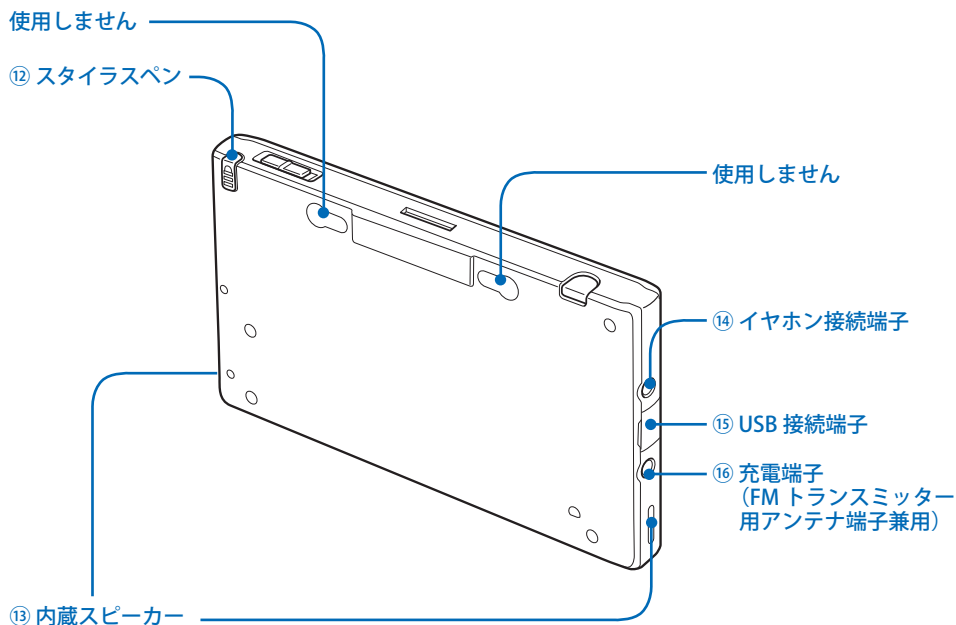
スタイラスペンの向きが違っていると、スタイラスペンは正しく本機に入りません。

注意

- 本機の付属のスタイラスペンの変わりにボールペンやシャープペンシルは使わないでください。
  本機のタッチスクリーンを傷付ける原因となります。

各部の名称（前面）

① ワンセグ TV 用
アンテナ
（内蔵式ロッド
アンテナ）
② タッチ
スクリーン
③ 充電
インジケーター
④ 電源スイッチ / ロック
ボタン
⑤ SD カードスロット
⑥ リセットスイッチ
⑦ 音声ミュート
ボタン
⑧ 音量ボタン
⑨ ナビゲーションボタン
⑩ メインメニューボタン
⑪ ワンセグ TV ボタン

各部の名称（後面）

使用しません
⑫ スタイラスペン
使用しません
⑭ イヤホン接続端子
⑮ USB 接続端子
⑯ 充電端子
（FM トランスミッター
用アンテナ端子兼用）
⑬ 内蔵スピーカー

各部の動作

① ワンセグ TV 用アンテナ（内蔵式ロッドアンテナ）

ワンセグ TV 用のロッドアンテナです。ワンセグ TV を見るときは、引き出してお使いください。

注意

● ワンセグ TV 用アンテナは、最後まで引き出してお使いください。アンテナを引き出すのを途中で止めてお使いになると、物に当たったときなどにアンテナが曲がる恐れがあります。

② タッチスクリーン

タッチスクリーン上の表示を付属のスタイラスペンまたは指先を使って操作します。

注意

● ボールペンやシャープペンシルなどで、タッチスクリーンに触れると、タッチスクリーンを傷つけたり、正しく動作しないことがあります。

③ 充電インジケーター

インジケーターの色により、本機の動作状態をお知らせします。
緑色：充電完了
赤色：充電中

メモ

● インジケーターは、電源が切られていても、付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターが接続されていると充電状態を表示するために点灯します。

④ 電源スイッチ / ロックボタン

● 電源が切れた状態で、このスイッチを左にスライドすると電源が入ります。
● このスイッチを短く左にスライドすると待機モードになります。タッチスクリーンやどれかのボタンを押すと、待機モードに入る直前の画面に戻ります。
● 本機の電源を切るには、システムを終了するメッセージが表示されるまで、このスイッチを左にスライドした状態にしてください。
● このスイッチを右にスライドするとキーロックモードになります。キーロックモード中は、どのボタンを押しても、またタッチスクリーンをタッチしても本機は操作できません。

注意

● 待機モードにすると、電源が入っているのに気が付かずバッテリーを消費することがあります。タッチスクリーンが消えていても、ボタンが点灯しているときは、電源が入っています。

⑤ SD カードスロット

ここに SD カードを挿入します。

⑥ リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなったときに押してください。

⑦ 音声ミュートボタン

このボタンを押すと、音声を消します。もう一度このボタンを押すか、＋または－の音量ボタンのどちらかを押すと音声は出ます。

⑧ 音量ボタン

＋ボタンを押すと音量は大きくなります。－ボタンを押すと音量は小さくなります。
これらのボタンを押し続けると、連続して音量が変化します。

⑨ ナビゲーションボタン
このボタンを押すと、ナビゲーションを起動します。

⑩ メインメニューボタン
このボタンを押すと、メインメニューが表示されます。
ナビ動作中にシステム設定を変更する場合、音楽のバックグランド再生を行う場合などには、その操作の切り換えになります。

⑪ ワンセグ TV ボタン
このボタンをワンセグ TV ソフトを起動します。ナビゲーション中にこのボタンを押すと、TV-in-Navi としてワンセグ TV がナビゲーションの画面の中に表示されます。

⑫ スタイラスペン
ここに付属のタッチパネル操作用のスタイラスペンを格納します。

⑬ 内蔵スピーカー
ここから音声がでます。左右に 1 個ずつスピーカーを装備し、ステレオで出力できます。

⑭ A.OUT（イヤホン）接続端子
この端子に市販の 3.5 φステレオイヤホンを接続してください。この端子にイヤホンが接続されているときは、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。

注意

- イヤホンは本機が完全に立ち上がってから接続してください。

⑮ USB 接続端子
この端子と付属の USB ケーブルを接続し、USB ケーブルの他方をパソコンに接続します。
なお、パソコンで接続して本体のメモリーのデータを書き換えたり、消去したりすると正常に動作しなくなります。ご注意ください。
この端子からの充電はできません。

⑯ 充電端子
ここに付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターの充電プラグを接続します。
なお、シガー電源アダプターを併用して、FM トランスミッターのアンテナ端子も兼用します。

表示について

メインメニューについて

電源を入れると下記のメインメニュー画面が表示されます。
画面の中央に選ばれている機能が表示されます。

メインメニュー画面のそれぞれのアイコンをタッチすることで機能を切り替えることができます。

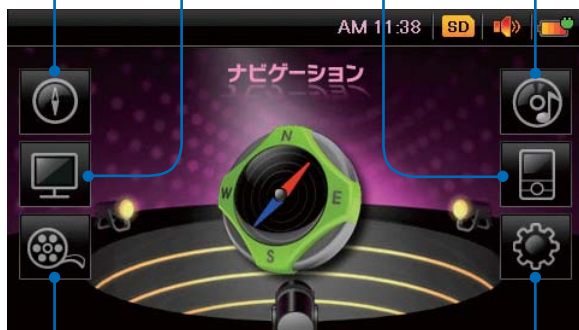
ワンセグ TV
ワンセグ TV を見るときには、ここをタッチします。ワンセグ TV の受信可能なチャンネルリストが表示されます。

ナビゲーション
ナビゲーションを使うには、ここをタッチします。

ユーティリティ
写真データの再生、ゲーム、電卓を利用するには、ここをタッチします。写真データの再生、ゲーム、電卓を選択するメニューが表示されます。

音楽再生
音楽データを再生するには、ここをタッチします。音楽再生を行う、音楽リストが表示されます。

動画再生
映像データを再生するには、ここをタッチします。動画再生を行う、映像リストが表示されます。

設定
本機の設定を変更するには、ここをタッチします。設定メニューが表示されます。

スピーカー

：　音が出ている状態

：　音が出ていない（ミュート）状態

このアイコンをタッチしても、ミュートができます。

SD

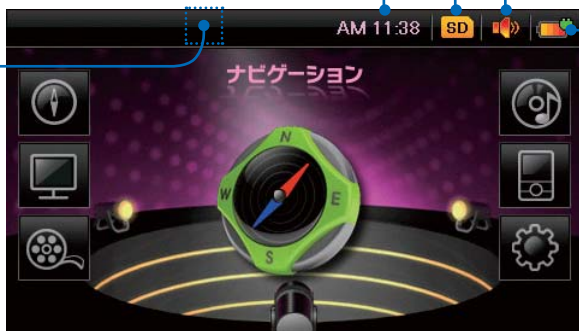
SD：SD カードが挿入されています。

SD：SD カードが挿入されていません。

時刻

時刻を表示します。GPS 衛星からの信号を受信して自動的に修正されます

キーロック

電源スイッチが右側にスライドされているキーロック状態に表示されます。

バッテリー残量 / 充電表示

バッテリーの残量を表示します。

：電池の残量が不足しています。直ぐに充電を行ってください。

：電池の残量を表示します。

付属の AC アダプターまたはシガー電源アダプターを接続時に、受電状態を表示します。

バッテリーの充電状態を表示します。

：　充電中です。

：　充電完了です。

ナビゲーションメニュー

ナビゲーション中に [**メニュー**] をタッチして呼び出します。
メニューが呼び出されます。
この画面から目的地の検索やナビゲーションの設定を変えることができます。

ルート編集
設定したルートを変更するときに、ここをタッチします。

検索
場所を検索するときに、ここをタッチします。
検索した場所は、目的地や出発地、経由地など
に設定できます。

目的地
目的地を検索するときに、
ここをタッチします。

時間表示
GPS 衛星からの信号を受信
して 12 時間表示します。
衛星からの信号を正しく受
けていないときは、時間表
示も正しく表示されません。

現在地
ナビゲーションメニューを終了
して、現在地画面に戻るときに、
ここをタッチします。

戻る
一つ前の画面に戻
るときに、ここを
タッチします。

GPS 情報
受信している GPS 衛星の数や GPS 衛星か
ら受信した信号を元に現在の位置などを
表示するときに、ここをタッチします。

設定
地図の表示方法や自車のアイ
コンを設定するときに、ここ
をタッチします。
また、ナビゲーションを終了
するときも、ここで表示され
る終了をタッチします。

データ編集
お気に入りや自宅の登録や登録しているデータ
の編集を行うときに、ここをタッチします。

ナビゲーションの検索メニュー

「目的地」や「検索」をタッチすると、場所を設定するためのメニューが表示されます。

駅名
駅名から場所を探すときに、ここをタッチします。

名称
名称から場所を探すときに、
ここをタッチします。

住所
住所から場所を探すときに、
ここをタッチします。

受信状況
GPS 衛星の受信状況を表示します。

自宅
登録した自宅を設定地点にするときに、
ここをタッチします。

ページ変更
次ページに移動するときに、
ここをタッチします。

電話番号
電話番号から場所を探すときに、
ここをタッチします。

目的地履歴
過去に検索した行き先(目的地)から探すときに、ここをタッチします。

ジャンル
食べるものや買うものなどのジャンルで探すときに、ここをタッチします。

お気に入り
既に登録してある地点(お気に入り地点)を探すときに、ここをタッチします。

周辺
周辺の施設を探すときに、ここをタッチします。

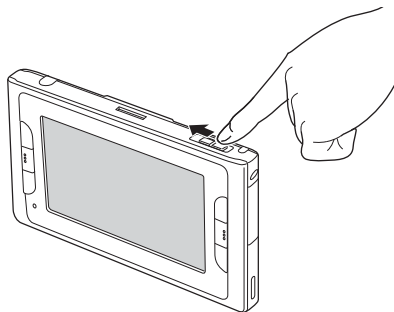
ページ変更
前ページに戻るときに、ここをタッチします。

マップコード設定
マップコードから場所を探すときに、ここをタッチします。

基本の操作

電源の入れ方・切り方

1 電源を入れるには、電源スイッチを左にスライドする

▼

メインメニューが表示されます。また、ボタンが点灯します。

2 待機モードにするには、電源スイッチを短く左にスライドする

画面が消え、待機モードになります。待機モード中もボタンは点灯して、待機モードをお知らせします。

3 待機モードは、下記の方法にて解除する

- 電源スイッチを短く左にスライドする

待機モードに入る直前の画面に戻ります。

4 キーロックモードにするには、電源スイッチを右にスライドする

キーロックモード中は、どのボタンを押しても、本機は操作できません。

5 電源を切るには、[システムを終了する] の表示が出るまで電源スイッチを左にスライドする

注意

- 待機モード中も、バッテリーを消費しておりますので、バッテリー残量が少なくなります。長時間ご使用にならない場合は、電源を切ってください。

メモ

- カバンの中に入れているときなどに、何かで電源スイッチがスライドされて電源が入らないように注意してください。電源スイッチを右にスライドしてキーロックモードにすることをお勧めします。

タッチスクリーンの操作方法

1 タッチスクリーンに表示されているアイコンや表示を軽くタッチする

注意

- タッチスクリーンは付属のスタイラスペンまたは指を使って操作してください。
- 他の機器のスタイラスペンやボールペン・シャープペンシルのペン先等でタッチスクリーンに触れないでください。

音量の調節

本体の音量ボタンを使っての調整

1 電源を入れる

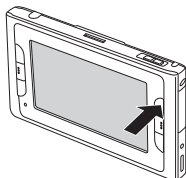
2 音量を大きくするには、＋ボタンを押す

＋ボタンを押し続けると、音量は連続して大きくなります。

3 音量を小さくするには、－ボタンを押す

－ボタンを押し続けると、音量は連続して小さくなります。

ナビゲーションの起動

1 ナビゲーションボタンを押す

本機メインメニューの をタッチしても起動できます。

▼

起動画面表示後にナビゲーションが起動し、案内モード選択画面が表示されます。

2 警告画面の［**確認**］をタッチする

［**確認**］または［**キャンセル**］がタッチされるまで、この表示は消えません。

▼

現在地画面が表示されます。

メモ

- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときは、前回終了時の位置を表示します。
- 前回、ナビゲーション起動中の画面で、電源を切った場合
  →再度電源を入れた時には、メインメニュー表示後、自動的にナビゲーションが選択されます。

  前回、ナビゲーションを終了してから、電源を切った場合
  →再度電源を入れた時には、メインメニューが表示されます。

ナビゲーションの終了

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**設定**］をタッチしてから、［**終了**］をタッチする

3 ［**OK**］をタッチする

［**キャンセル**］をタッチすると、「設定画面」に戻ります。

メモ

- 案内中にナビゲーションを終了した場合、そのデータは保存されます。次にナビゲーションを起動したとき、経路の検索を自動的に行い、走行案内を開始します。

現在地画面

ナビゲーションが起動すると現在地を中心とした地図画面が表示されます。前回使用したスケールを記憶していますので、起動後の地図画面は前回使用したスケールで表示します。

メモ

- 走行案内が開始されている場合は、現在地から目的地の方向を示す点線が表示されます。
- 変更したスケールは、ナビゲーションを終了して再起動しても、前回のスケールで地図を表示します。
- 現在地マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- GPS 信号の受信状態が悪く、自車位置を測位できないときは、前回終了時の位置を表示します。

地図スクロール画面

地図スクロール画面は、地図を動かすときに表示される地図画面です。

1 地図上の見たい地点をタッチする

タッチした地点を中心とした地図が表示されます。

位置情報

スクロール画面の中心地（センターマーク）の位置情報を表示します。

センターマーク

地図上の中心点を示し、現在地までを点線で示します。

クイックメニュー

クイックメニューの項目をタッチすると、走行案内を開始したり、スクロール画面の中心地（センターマーク）を目的地等のタッチした項目に設定できます。また、現在地をタッチすると現在地画面になります。

メモ

- 地図スクロール画面では、センターマークから現在地の方向を示す点線が表示されます。
- 画面を触り続けても地図の連続スクロールはしません。動かしたい方向に何回かタッチしてください。

地図のスケールを変える

地図のスケールは 10m 〜 250km の範囲で変えることができます。(場所により、ご希望のスケールで表示されないことがあります。)
ナビゲーションを終了しても、前回のスケールが記憶されています。

1 [詳細]・[広域] をタッチする

タッチするたびに 10m、25m、市街図、50m、100m、200m、500m、1km、2.5km、5km、10km、25km、100km、250km で地図のスケールが変わります。

メモ

● [詳細] または [広域] をタッチし続けると、地図のスケールが連続的に変わります。

地図画面の表示について

地図表示の向きについて

進行方向が常に上にくるように地図が回転するヘディングアップ(走行方向)と、常に北を上に表示するノースアップ(北上固定)と 3D の地図の表示を選ぶことができます。
ご購入時は、ヘディングアップに設定されています。地図表示の向きを変えるときは、方位表示をタッチしてください。方位表示をタッチするごとに、ヘディングアップ→ 3D →ノースアップの順に切り替われます。

〈ヘディングアップ〉

〈3D〉

〈ノースアップ〉

地図画面の配色について

地図画面の配色を昼モード / 夜モード / オートで選ぶことができます。夜モードは夜間移動時、昼モードは明るい場所を移動時に適切な配色になっています。移動する場所、時間に合わせて画面の配色を設定してください。オートに設定すると、地域と時期を元に自動的に配色を切り替えます。

〈昼モード〉

〈夜モード〉

メモ

- ご購入時は、オートに設定されています。地図画面の配色を変更するときは、(→ P61)「地図の配色を変更する」を参照してください。

登録地・自宅のアイコンについて

登録地・自宅のアイコンを地図に表示することができます。

メモ

- スケールにより、表示されないアイコンがあります。
- 地点を登録するときは、(→ P56)「現在地を地点登録する」を参照してください。
- 自宅やお気に入りを登録すると、地図にアイコンで自宅やお気に入りが表示されます。

地図記号一覧

記号	名称
	都道府県庁、市役所、区役所、町村役場、市区町村役場出張所、刑務所、税務署
	裁判所
	保健所
	警察署
	消防署
	郵便局
	公民館、その他公共施設
	皇室施設
	小学校
	中学校
	高等学校
	高等専門学校、短期大学、専修学校・各種学校、大学・大学校、自動車学校
	大学・大学校
	ファミリーレストラン
	ファーストフード
	飲食店・レストラン
	公園・庭園・緑地・植栽地
	遊園地
	総合リゾート

記号	名称
	動物園
	水族館
	植物園
	美術館
	博物館・文学館・科学館・史料館
	公立図書館
	ホール・劇場
	競馬場・競艇場・競輪場等
	プール
	海水浴場
	病院
	結婚式場
	神社
	寺院
	教会・天主堂
	墓地
	百貨店
	ショッピングセンター
	スーパー
	複合商業施設
	カーディーラー
	自動車用品店

記号	名称
	物産館・市場
	ガソリンスタンド
	陸上競技場
	体育館
	野球場
	スキー場
	サッカー場・ラグビー場
	ゴルフ場
	ゴルフ練習場
	テニスコート
	総合スポーツ公園
	モータースポーツ施設
	キャンプ場
	ボウリング場
	城・城跡
	史跡・名勝・天然記念物
	温泉
	牧場
	観光遊覧船乗り場
	タワー
	工場、研究所、その他重要企業施設
	銀行

	ホテル
	公共宿泊施設
	駐車場
	道の駅
	フェリーターミナル
	空港
	民間飛行場
	ヨットハーバー・ マリーン
	港
	新幹線駅、 第 3 セクター駅
	JR 駅
	私鉄駅、路面鉄道駅、 地下鉄駅、新交通駅
	モノレール駅、 ロープウェイ駅、 ケーブルカー駅
	国道番号
	主要地方道番号
	トンネル
	インターチェンジ
	ジャンクション
	サービスエリア
	パーキングエリア
	料金所

	山岳
	お気に入りポイント
	自宅登録地点
	例）企業アイコン

※記号やマークは、スケールによって表示されない場合があります。
※実際の色と異なる場合があります。

「メニュー画面」を表示する

「現在地画面」「地図スクロール画面」「走行案内画面」で[メニュー]をタッチすると「メニュー画面」が表示されます。

▼

[目的地]　(→ P31 ～ P42) 目的地を設定します。

[検索]　(→ P44) 目的地に設定する以外の場所を検索します。

[ルート編集]　(→ P48) ルートを設定したり、変更したりします。

[GPS 情報]　(→ P63) 受信している GPS 衛星の情報を元に現在地や GPS 衛星の情報等を表示します。

[データ編集]　(→ P56) 自宅やお気に入り地点の登録や編集を行います。

[設定]　(→ P60) 地図の表示方法の設定や自車のアイコン設定を行います。またこのメニューの終了を選んでナビゲーションを終了します。

各設定画面の基本操作

リスト表示の画面操作

リストの項目を画面に表示しきれないときは、スクロールボタンが画面に表示されます。
スクロールボタンにタッチすると、リストを上下にスクロールします。
画面右上には表示中のリストのページが表示されます。

［スクロール］ボタン

キーボード表示の画面操作

都道府県、市区町村などでは、キーボードが画面に表示されます。
キーをタッチすると、選んだキーの住所リストを表示します。

キー

チェックボックス表示の画面操作

チェックボックスが表示される画面では、チェックボックス(□)をタッチして選択または解除の操作を行います。

［現在地］

各メニュー画面で、［現在地］をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして「現在地画面」を表示します。

［戻る］

各画面で、［戻る］をタッチすると、入力または選択した内容をキャンセルして、前の画面に戻ります。

地図画面で探す

地図画面をタッチして、地図上で場所を探します。

1 地図画面で地図上をタッチする

▼

センターマーク(スクロール画面の中心地)が表示されます。

2 地図上のタッチを繰り返して地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

3 操作する項目をタッチする

[案内開始] センターマークの地点を目的地に設定し、案内を開始します。

[目的地] センターマークの地点を目的地に設定します。

[出発地] センターマークの地点を出発地に設定します。

[経由地] センターマークの地点を経由地に設定します。

[地点登録] センターマークの地点を登録します。

[周辺検索] センターマークの周辺施設を検索します。

[現在地] 現在地が表示されます。

住所で探す

住所で場所を探します。番地または号まで入力して探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［目的地］をタッチする

3 ［住所］をタッチする

4 「都道府県」をタッチする

5 「市区町村」をタッチする

メモ

- 住所に小字があるときは、手順 **6** の「丁目」で小字を選択します。

6 「丁目」をタッチする

7 「番地」をタッチする

8 「号」をタッチする

▼

入力した住所を中心に「地点確認画面」が表示されます。

メモ

- 号までの地図情報がない場合は､「号」が表示されません。

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）］：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→(P46)「検索モードを変更する」
［経路消去］：経路を消去します。→(P47)「ルートを削除する」
［経路探索］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→(P45)「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 出発地、経由地、目的地、経路モードを変更する場合は、経路編集画面が表示されてから15秒以内に変更する項目にタッチしてください。

電話番号で探す

探す場所の電話番号を入力して探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［目的地］をタッチする

3 ［電話番号］をタッチする

4 「数字」をタッチして電話番号を入力する

[←]：入力した数字を一文字削除します。
[クリア]：入力した数字を全て削除します。

▼

入力した電話番号の検索結果がリストで表示されます。

5 リストから場所をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

[検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）]：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→（P46）「検索モードを変更する」
[経路消去]：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」

[経路探索]：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 電話番号検索は法人電話帳などから検索されます。
- 市外局番から必ず入力してください。
- 市外局番、市内局番の間に［-］を入れても、入れなくても検索できます。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [目的地] をタッチする

3 [名称] をタッチする

4 キーボードで名称を入力する

[あ]～[わ]：各行を表します。
[←]：入力した数字を一文字削除します。
[クリア]：入力した数字を全て削除します。
入力したい文字の行と同じキーをタッチしてください。タッチすると、選択した行で入力できる文字が表示されます。入力できる文字に小文字や濁点などがある場合は、それらのものも表示されます。

メモ

- 入力できる文字は、検索される対象に合わせて絞り込まれてきます。したがって、入力した文字により、次に入力できる文字が限定されます。
- ひらがな、カタカナ以外の入力はできません。漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、すべてひらがな、カタカナで入力します。

5 名称の入力を終了してから [リスト] をタッチする

▼

入力した名称の検索結果がリストで表示されます。

メモ

- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます。
- 検索対象が絞り込まれたら、入力ができない状態になります。

6 リストから場所をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

[検索モード(おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先)]：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→(P46)「検索モードを変更する」
[経路消去]：経路を消去します。→(P47)「ルートを削除する」
[経路探索]：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→(P45)「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

駅名で探す

目的の駅を駅名から探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [目的地] をタッチする

3 [駅名] をタッチする

4 キーボードで駅名を入力する

［あ］～［わ］：各行を表します。
［←］：入力した数字を一文字削除します。
［クリア］：入力した数字を全て削除します。

メモ

- 入力できる文字は、検索される駅名に合わせて絞り込まれてきます。したがって、入力した文字により、次に入力できる文字が限定されます。
- ひらがな、カタカナ以外の入力はできません。漢字、ローマ字、数字などを含む駅名を探すときも、すべてひらがな、カタカナで入力します。

5 名称の入力を終了してから［リスト］をタッチする

▼

入力した駅名の結果がリストで表示されます。

6 リストから駅名をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）］：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→（P46）「検索条件を変更して再探索する」
［経路消去］：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」
［経路探索］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 出発地、経由地、目的地、経路モードを変更する場合は、経路編集画面が表示されてから15秒以内に変更する項目にタッチしてください。
- 手順**6**で［**キーボード**］をタッチして、キーボードから都道府県、市区町村を入力して、検索することもできます。

周辺の施設を探す

レストランやガソリンスタンドなど、現在地やスクロール先の周辺施設を近い順序に表示できます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［目的地］をタッチする

3 ［ページ変更］をタッチする

4 ［周辺］をタッチする

5 検索するジャンルをタッチする

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

6 リストから周辺施設をタッチする

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）］：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→（P46）「検索条件を変更して再探索する」

［経路消去］：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」

［経路探索］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15 秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 手順 *5* でジャンルをタッチした後に、キーボードをタッチして、キーボードから名称を入力して、検索することもできます。

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [目的地] をタッチする

3 [ページ変更] をタッチする

4 [ジャンル] をタッチする

5 探している施設のジャンルをタッチする

メモ

- 探すジャンルによっては、さらに詳細を絞り込むための画面が表示されます。表示される画面で探すジャンルをタッチしてください。
- 絞り込む必要がないジャンルは､「都道府県」を選ぶ画面に切り替わります。

6 地域を選択する

▼

選んだジャンルの検索結果がリスト表示されます。

8 目的の施設をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

[検索モード(おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先)]：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→(P46)「検索条件を変更して再探索する」
[経路消去]：経路を消去します。→(P47)「ルートを削除する」
[経路探索]：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→(P45)「ルートを探索する」

▼

15 秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 手順 ***5*** で [**キーボード**] をタッチして、キーボードから名称を入力して、検索することもできます。

登録した場所(お気に入り・自宅)から探す

登録されている場所(お気に入り・自宅)から探すことができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [**目的地**] をタッチする

3 自宅を目的地に設定する場合は [**自宅**] をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、自宅が目的地に設定されます。

[**検索モード(おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先)**]：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→(P46)「検索条件を変更して再探索する」

[**経路消去**]：経路を消去します。→(P47)「ルートを削除する」

[**経路探索**]：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→(P45)「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 自宅登録がされていない場合は、下の画面が表示されます。登録地については、(→ P57)「検索して地点を登録する」を参照してください。

4 お気に入りを目的地に設定する場合は［**ページ変更**］をタッチし、ページを変更してから［**お気に入り**］をタッチする

5 探している「お気に入り」をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［**検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）**］：経路を検索するモードを4種類の中から選択します。→（P46）「検索条件を変更して再探索する」
［**経路消去**］：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」
［**経路探索**］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

検索履歴から探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 ［**メニュー**］をタッチする

2 ［**目的地**］をタッチする

3 ［**ページ変更**］をタッチする

4 ［**目的地履歴**］をタッチする

5 履歴の地点をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）］：経路を検索するモードを 4 種類の中から選択します。→（P46）「検索条件を変更して再探索する」
［経路消去］：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」
［経路探索］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15 秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 目的地履歴は 100 件まで履歴を残すことができます。

マップコードで探す

過去に検索した地点から探すことができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［目的地］をタッチする

3 ［ページ変更］をタッチする

4 ［マップコード設定］をタッチする

5 マップコードを入力する

6 ［決定］をタッチする

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

［検索モード（おすすめ、高速優先、一般優先、距離優先）］：経路を検索するモードを 4 種類の中から選択します。→（P46）「検索条件を変更して再探索する」
［経路消去］：経路を消去します。→（P47）「ルートを削除する」
［経路探索］：探した地点を目的地に設定し、ルートを探索します。→（P45）「ルートを探索する」

▼

15 秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

メモ

- 間違ったマップコードを入力しても、指定の地図画面は表示されません。

探した場所の地図を見る

1 目的地を探す

地図画面で探す→ P30
住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

2 経路編集画面の目的地、出発地、経由地のいずれかをタッチする

▼

地図が表示されます。

場所を検索する

場所を検索して、その場所の地図とクイックメニューを表示して、目的地、出発地、経由地をに設定できます。

1 [**メニュー**] をタッチする

2 [**検索**] をタッチする

3 場所を探す項目をタッチする

▼

[**ページ変更**] をタッチするとページを切り替えることができます。

4 場所を探す

場所の探し方は、目的地の各メニューでの探し方と同じです。

住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

▼

クイックメニュー付きの地図が表示されます。

[**案内開始**] センターマークの地点を目的地に設定し、案内を開始します。
[**目的地**] センターマークの地点を目的地に設定します。
[**出発地**] センターマークの地点を出発地に設定します。
[**経由地**] センターマークの地点を経由地に設定します。
[**地点登録**] センターマークの地点を登録します。
[**戻る**] ひとつ前の表示に戻ります。
[**現在地**] 現在地が表示されます。

ルートを探索する

目的地を探して設定すると､「経路編集」が表示されます。その後 15 秒間操作が無いと現在地から目的地までのルートが探索されます。

1 目的地を探す

地図画面で探す→ P30
住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

メモ

- 既に出発地・目的地が設定されているときに「**経路編集画面**」を表示するには､［**メニュー**］をタッチし、メニュー画面の［**ルート編集**］をタッチします。

▼

経路編集画面が表示され、探した地点が目的地に設定されます。

▼

- 15 秒間操作が無ければ、自動的にルートを探索します。

2 ［経路探索］をタッチする

▼

行き先までのルートを探索し、経路地図が表示されます。

▼

［**キャンセル**］をタッチした場合は、ルート探索をキャンセルします。

メモ

- 出発地・目的地周辺に有料道路がある場合は、「確認ダイアログ画面」が表示されます。［**有料道路**］または［**一般道路**］のどちらかを選びルートを設定します。

3 **探索結果を確認するには、［経路確認］をタッチする**

▼

経路確認画面が表示されます。

ルート情報

[走行案内]：ルート案内を開始します。→(P49)「ルート案内を開始する」

[デモ走行]：探索したルートをデモ走行します。→(P47)「ルートをデモ走行する」

[戻る]：経路地図に戻り、設定した出発地、目的地、経由地を地図上に表示し、出発地から目的地までを緑色の経路で表示します。

ルート情報

[時間]：行き先（目的地）到着までのおよその時間を表示します。

[距離]：行き先（目的地）までの距離を表示します。

[案内地点]：出発地から目的地までの主な通過地点や分岐地点をリスト表示します。また、リスト中の名称をタッチするとその場所の地図が表示されます。

メモ

- ルート確認画面の地図はルート全域が入るスケールでノースアップ表示しますが、入るスケールが無い場合にはスタート地点を中心とした最大スケールで地図を表示し、地図の拡大・縮小は行えません。
- 「時間」は、各案内モードの基準値から算出して表示します。誘導を開始すると、実際の移動速度で再計算し、最新の時速で一定の時間ごとに更新した「時間」を表示します。

探索条件を変更して再探索する

ルートの探索条件を変更して、ルートを再探索します。

1 [メニュー] をタッチし、[**ルート編集**] をタッチする

2 「検索モード」をタッチする

探索条件

[おすすめ]：標本機がお勧めする準的な探索条件でルートを探索します。

[高速優先]：高速道路を優先して最短ルートを探索します。

[一般優先]：一般道の通行を優先してルートを探索します。

[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。

▼

行き先までのルートを探索し、「探索結果画面」が表示されます。

ルートを削除する

探索したルートを削除します。

1 [メニュー] をタッチし、[ルート編集] をタッチする

2 [経路消去] をタッチする

▼

消去を確認する画面が表示されます。

3 [OK] をタッチする

[キャンセル] をタッチした場合は、ルート削除を中止し､「経路編集画面」に戻ります。

▼

目的地、出発地、経由地のが削除され、ルートが削除されます。

ルートをデモ走行する

探索したルートをデモ走行し、事前に確認することができます。

1 [メニュー] をタッチし、[ルート編集] をタッチする

2 [経路探索] をタッチする

▼

「経路探索結果画面」が表示されます。

3 [デモ走行] をタッチする

デモ走行を開始します。

デモ走行中は､「デモ走行中」が点滅表示されます。

[▶|]：次の「案内地点」に移動します。

[|◀]：ひとつ前のの「案内地点」に移動します。

[■]：デモ走行を中止し､「経路探索結果画面」に戻ります。

[II/▶]：デモ走行中は､[II] が表示されます。[II] をタッチすると一時停止します。デモ走行の一時停止中は､[▶] が表示されます。[▶] をタッチするとデモ走行を再開します。

[2x/4x/8x/16x/1x]：デモ走行の速度を36km/h から変更します。2x は 2 倍、4x は 4 倍、8x は 8 倍、16x は 16 倍、1x は元の速度に戻ります。

ルートを変更する

探索したルートに経由地を追加したり、ルート探索後に目的地や出発地を変更してルートを設定しなおすことができます。

1 [メニュー] をタッチし､[ルート編集] をタッチする

2 変更したい場所の [変更] をタッチする

[目的地]　目的地の変更を行います。
[出発地]　出発地の変更を行います。
[経由地]　経由地の変更を行います。

▼

各場所の検索メニューが表示されます。

3 場所を探す

場所の探し方は、目的地の各メニューでの探し方と同じです。

住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

▼

クイックメニュー付きの地図が表示されます。

[案内開始] センターマークの地点を目的地に設定し、案内を開始します。
[変更完了] センターマークの地点を変更した項目に設定します。
[周辺検索] センターマークの周辺施設を検索します。
[地点登録] センターマークの地点を登録します。
[戻る] ひとつ前の表示に戻ります。
[現在地] 現在地が表示されます。

4 [変更完了] をタッチする

センターマークの地点を変更したい項目の場所として設定し、「経路探索結果画面」に戻ります。

ルート案内を開始する

ルートが決まったら、ルート案内を開始します。

1 [メニュー] をタッチし、[ルート編集] をタッチする

2 [経路探索] をタッチする

▼

「経路探索結果画面」が表示されます。

3 [走行案内] をタッチする

ルート案内を開始します。

4 移動を開始する

▼

移動を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内を行います。目的地に近づくとルート案内を終了し、ルートが削除されます。

ルート案内中の案内について

ルート案内を開始すると、「ルート案内画面」が表示され、画面と音声で目的地まで設定したルートで誘導が行われます。

メモ

- 都道府県道の場合、データには区別がないため、「地方道」と表示されます。

メモ

- 走行案内を開始すると、表示されていたスケールで走行案内を行います。スケールを変更すると、変更したスケールで地図を表示します。
- 走行中に有料道路を走行すると、「ハイウェイモード」に切り替わります。地図のスケールは変化しません。(→ P51)「ハイウェイモード」
- 交差点名称、方面看板、レーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 方面看板、レーン情報は実際の標識と異なる場合があります。
- 走行案内中のルートは黄緑色で表示されます。
- 通過したルートは表示から消え、通常の道路色に戻ります。
- ルート案内中に地図上をタッチすると、「地図スクロール画面」が表示されます。音声の誘導は継続して行われます。**[現在地]** をタッチすると「ルート案内画面」に戻ります。
- 目的地に近づくと、「目的地に近づきました」の音声案内を行い、目的地に到着すると誘導を終了し、通常の地図表示画面に切り替わります。
- アイコンを表示するスケールは、100m より詳細な場合のみです。
- 入り口イラストのデータがない場合は、案内図のみの表示になります。

ハイウェイモード

ルート案内時に有料道路の入り口に近づくと、自動的に「ハイウェイモード画面」に切り替わります。

入口 1Km 手前に近づくと

有料道路の入口 1Km 手前から入口を通過するまで、左側に地図表示し、右側に入口イラストを表示して誘導します。

メモ

- 入口イラストのデータがない場合は、右下に出る案内図のみになります。

入口を通過すると

［施設送り］

目的地までの距離、到着予想時刻

「施設送り」の [▲] を１回タッチする度に、表示する案内地を１つ先に進めます。[▼] を１回タッチする度に、１つ後に戻します。

[⏶] [⏷] をタッチすると追加前と通過済みの案内地を切り換えます。

案内地点 1km 手前に近づくと

音声で案内されます。
例：「およそ 1km 先、○○方面です。」

音声で案内され、分岐イラストが表示されます。

案内地点 500m 手前に近づくと

分岐名

分岐までの距離

メモ

- 分岐イラストのデータがない場合は、分岐情報とレーン情報が表示されます。
- 分岐情報とレーン情報はデータが存在しない場合は表示されません。
- 有料道路の出口へ到達すると、自動的に通常の案内画面へ切り替わって、引続き目的地までの誘導を行います。

音声による誘導

ルート移動中は、移動中の状況に合わせて音声で案内が行われます。
案内ポイントの手前 1km、500m、300m、間もなく（約 100m）で音声による案内が行なわれます。なお、案内ポイントから次の案内ポイントまでの距離・時間が短い場合などでは音声案内が行なわれない場合があります。

一般道路での案内例

一般道路では、移動方向（左右方向）の誘導に加え、下記を音声で案内します。
「目的地付近」、「トンネル」、「県境」、「スピードを注意する箇所」。

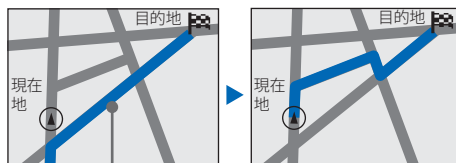
高速道路・有料道路での案内例

高速道路または有料道路では一般道の案内に加え、以下の案内も行います。
「料金所」、「有料入口」、「有料出口」、「分岐」、「サービスエリア」、「パーキングエリア」。

メモ

- 案内される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

オートリルートについて

誘導中のルートからはずれた場合、自動的にルートを再探索します。

メモ

- リルート機能はオートリルートのみで、手動にてリルートを行うことはできません。また、オートリルートの設定は、解除できません。
- 設定したルートの条件により、リルートに時間がかかる場合があります。

条件を変えてルートを探索させる

案内中のルートで探索条件を変えて再探索させることができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [ルート編集] をタッチする

3 「検索モード」をタッチする

[おすすめ]：本機がお勧めする標準的な探索条件でルートを探索します。
[高速優先]：高速道路を優先して最短ルートを探索します。
[一般優先]：一般道の通行を優先してルートを探索します。
[距離優先]：距離を優先してルートを探索します。

4 [経路探索] をタッチする

選んだ探索条件でルートを再探索し、「経路探索結果画面」が表示されます。

ルートを削除する

ルート案内中に案内を途中で終了することができます。

1 [メニュー] をタッチする

2 [ルート編集] をタッチする

3 [経路消去] をタッチする

▼

消去を確認する画面が表示されます。

4 [OK] をタッチする

経由地を設定 / 変更する

ルート上に立ち寄る場所を追加して、経由地を経由するルートを案内させることができます。経由地の設定や変更は、メニューの「ルート編集」または地図スクロール画面のクイックメニューを使って設定できます。

経路編集で設定 / 変更する

1 ［メニュー］をタッチし、［ルート編集］をタッチする

2 経由地の［変更］をタッチする

▼

経由地の検索メニューが表示されます。

3 経由地を探す

経由地の探し方は、目的地の各メニューでの探し方と同じです。

住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

▼

クイックメニュー付きの地図が表示されます。

4 ［経由地変更完了］をタッチする

▼

センターマークの地点を経由地として設定し、「ルート編集画面」に戻ります。

クイックメニューで設定 / 変更する

1 地図をスクロールさせ、探したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

2 ［経由地］をタッチする

▼

センターマークの地点を経由地として設定し、「ルート編集画面」に戻ります。

経由地を削除する

設定した経由地のみを削除することはできません。
経由地を削除する場合は、ルートを削除（→P54「ルートを削除する」）してから新たにルート探索します。

現在地を地点登録する

「データ編集」を使って、現在地を「お気に入り」、「自宅」に登録できます。
自宅や良く行く場所を（自宅1件、お気に入り地点最大100件まで）登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。登録する地点の名称は変更することができます。

1 ［**メニュー**］をタッチし、［**データ編集**］をタッチする

2 ［**ページ変更**］をタッチし、「お気に入り登録」、「自宅登録」のページを表示する

3 現在地を登録したい項目をタッチする

▼

［**自宅登録**］を選ぶと、確認の画面が表示されます。
お気に入り登録を選ぶと、お気に入りの名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

4 ［**OK**］をタッチする

検索して地点を登録する

地点の登録は、メニューの「検索」または地図スクロール画面のクイックメニューを使っても設定できます。

検索で地点を登録する

1 [メニュー] をタッチし、[検索] をタッチする

2 場所を探す項目をタッチする

▼

[ページ変更] をタッチするとページを切り替えることができます。

3 登録する場所を探す

場所の探し方は、目的地の各メニューでの探し方と同じです。

住所で探す→ P31
電話番号で探す→ P32
名称で探す→ P34
駅名で探す→ P35
周辺施設で探す→ P37
ジャンルで探す→ P38
登録地・自宅で探す→ P40
検索履歴で探す→ P41
マップコードで探す→ P42

▼

クイックメニュー付きの地図が表示されます。

4 [地点登録] をタッチする

5 検索した場所を登録したい項目をタッチする

▼

[自宅登録] を選ぶと、確認の画面が表示されます。
お気に入り登録を選ぶと、お気に入りの名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

6 [OK] をタッチする

メモ

- お気に入りの名称は、17 文字まで入力できます。
- 何も入力しないと住所で登録されます。名称などで登録する時は入力欄の住所をクリアしてから入力してください。

クイックメニューで地点を登録する

1 地図をスクロールさせ、登録したい場所をタッチして画面の中心に合わせる

2 ［地点登録］をタッチする

▼

「地点登録画面」が表示されます。

3 探した場所を登録したい項目をタッチする

▼

［**自宅登録**］を選ぶと、確認の画面が表示されます。
お気に入り登録を選ぶと、お気に入りの名称を入力する画面が表示されます。名称を入力すると確認の画面が表示されます。

4 ［OK］をタッチする

登録地を編集する

自宅、お気に入りまたは連続目的地を削除したり、お気に入りや連続目的地の名称を編集することができます。

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［データ編集］をタッチする

▼

「データ編集画面」が表示されます。

3 編集する項目をタッチする

「**自宅削除**」を選ぶと、確認の画面が表示されます。［**OK**］をタッチしてください。
［**お気に入り編集**］を選ぶと、それぞれのリストが表示されます。

4 名称を変更するときは、登録地の**名称**をタッチする

▼

キーボードが表示されます。

5 キーボードで名称の変更後、[リスト]をタッチする

▼

名称が修正されたリストが表示されます。

6 [戻る] をタッチする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

メモ

- ナビ設定では、項目を選んだ時点でその項目の内容で設定されます。
- [**現在地**] をタッチすると、それまでに設定された内容で「現在地画面」に戻ります。
- [**戻る**] をタッチすると、前の画面に戻ります。

地図表示の向きを変更する

1 [**メニュー**] をタッチする

2 [**設定**] をタッチする

3 [**地図設定**] をタッチする

4 「**地図モード**」の項目をタッチする

[**3D**]：地図を立体的に表示することで、現在地から進行方向の先まで見通せます。
[**ノースアップ**]：常に北が上になるように地図が表示されます。
[**ヘディングアップ**]：進行方向が常に上になるよう、地図が自動回転します。（※ご購入時の設定です。）

5 [**現在地**] をタッチする

設定を終了します。

メモ

- 「ヘディングアップ」の設定で、ルート誘導中に地図をスクロールした場合はスクロール開始時の表示方向で固定したままスクロールします。[**現在地**] をタッチして「ルート誘導画面」に戻ると、ヘディングアップで表示します。

地図の配色を変更する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [地図設定] をタッチする

4 「地図色」の項目をタッチする

[昼]：昼の移動に適した配色で表示します。
[夜]：夜の移動に適した配色で表示します。
[オート]：地域や時期に適した配色で表示します。(※ご購入時の設定です。)

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

2 画面を設定する

1 [メニュー] をタッチする

2 [設定] をタッチする

3 [地図設定] をタッチする

4 「2 画面モード」の項目をタッチする

[OFF]：2 画面表示を行いません。
[ON]：走行案内中、交差点などの案内地点を拡大した画面とともに表示します。(※ご購入時の設定です。)

5 [現在地] をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 一部の案内地点では、2 画面で表示されないことがあります。

地図のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［地図設定］をタッチする

4 「企業マーク」の［設定］をタッチする

5 地図上に表示したいアイコンのチェックボックスをタッチする

6 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

自車のアイコン表示を変更する

1 ［メニュー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

3 ［自車アイコン設定］をタッチする

4 地図上に表示したいアイコをタッチする

5 ［現在地］をタッチする

▼

設定を終了します。

メモ

- 自車アイコンを設定しても、GPS 衛星から信号を受信していないときは、自車のアイコンはグレーの矢印が表示されます。

GPS 衛星の測位状態を確認する

1 [メニュー] をタッチする

2 [GPS 情報] をタッチする

3 [その他設定] をタッチする

4 [GPS] をタッチする

「測位状態表示画面」が表示されます。

▼

衛星測位状態

測位できた GPS 衛星の個数が表示されます。
衛星測位状態をタッチすると、GPS 衛星の位置表示と信号の受信状態表示を切り換えられます。

詳細情報

測位データから緯度、経度、方向、速度、高度、測位が表示されます。

5 [現在地] をタッチする

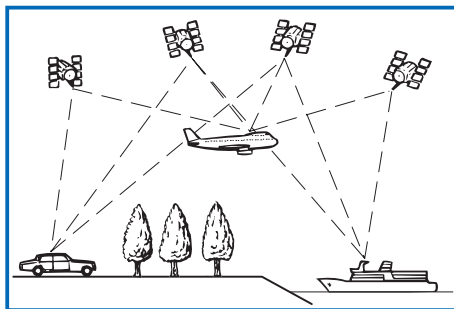
「現在地画面」に戻ります。

メモ

● 通常は電源を入れてから、数分で GPS 衛星の測位を行い現在地を表示します。しかし、始めてお使いになる時や、長時間ご使用にならなかったときは GPS 衛星の測位を行い現在地を表示するまでに、10 ～ 20 分程度かかることがあります。現在地が表示されるまで移動しないでください。

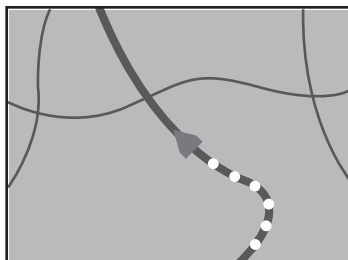
ナビゲーションのしくみ

GPS による測位

GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000 km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。
GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。

GPS 衛星の測位ができると、自車アイコンがグレーの矢印から設定したアイコンへ変化します。

マップマッチング

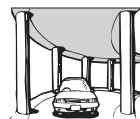
GPS による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき､「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中やビルの駐車場

2層構造の高速道路の下

高層ビルの群集地帯

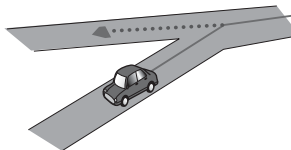
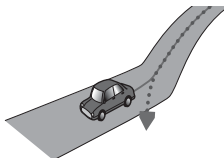
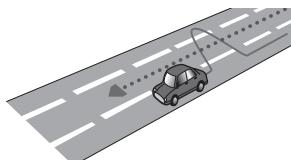
密集した樹木の間

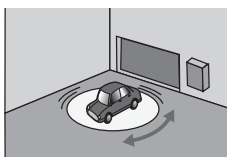
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※車載のテレビで 56 チャンネル（UHF）を受信している。
  ※GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

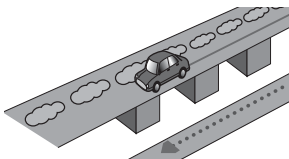
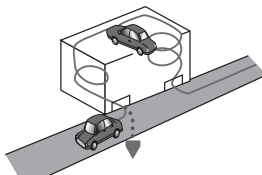
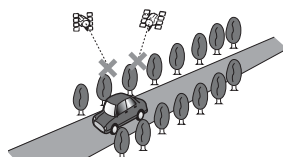
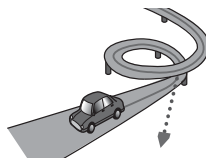
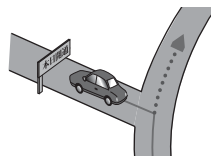
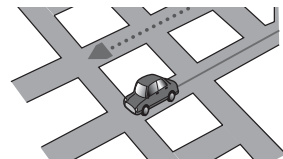
GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できる衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり、誤差が大きくなります。

その他の誤差について

- 角度の小さな Y 字路を走った場合。

- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。

- 蛇行運転をした場合。

- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。

- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。

- ヘアピンカーブが続いた場合。

- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。

- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。

- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。

- ループ橋などを通った場合。

- 地図情報にはない新設道路を走った場合。

- 碁盤の目状の道路を走った場合。

- 工場などの施設内の道路を移動中、施設に隣接する道路に近づいた場合。

収録されている地図情報について

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、「日本ソフト販売（株）」の「Bellmax」の約 800 万件のデータをベースに、独自に調整した約 730 万件のデータが収録されています。

アイコン表示について

- アイコンが表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

ルート探索の仕様

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に移動すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。
  移動するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- 出発地、目的地、経由地が細街路（5.5m 以下）上、またはその近辺にある場合、最寄りの広い道路からルートが探索されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- 長距離のルート探索を行う場合は、探索に時間がかかります。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を誘導するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに設定してください。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点」付近に経由地を設定してみてください。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口施設」と「料金所」は音声案内されないことがあります。

オートリルートについて

- リルートする場合、ルートをはずれた地点を出発地とするルート探索を行います。
- 目的地、経由地付近の時間規制がある場合は、規制を無視するルートを引く場合があります。

地図データについて

- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-125P）［2007 年 9 月発行データ使用］
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 2500 分の 1 国土基本図を使用しました。（承認番号）平成 10 年 小田原市指令第 52 号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 の都市計画基本図を使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認　平成 12 年度 知都発第 170 号）
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用しました。（平成 12 年　養建第 1902 号）
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 2500 分の 1 全図を使用し、調整しました。（承認番号）平 10．近公．第 34 号
- この地図は大木町の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調整したものです。（15 大木建第 734 号）
- この地図は、堀金村長の承認を得て、1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。（承認番号）平成 17 年　16 堀第 5417 号
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 使用し、調製したものです。（承認番号　東開第 111 号　平成 18 年 2 月 28 日承認）

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。TMT 承認番号 08-87
- 本製品に使用している交通規制データは、2007 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメント P（株）が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工または改変することはできません。

注意事項

- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

その他 © 記載

ワンセグ TV メニューについて

重要

- **自動車を運転中に本機でワンセグ TV を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。**

FMT ボタン
このボタンをタッチすると FM トランスミッターの ON/OFF を切り替えられます。

再生（TV）ボタン
ワンセグ TV 受信とワンセグ録画再生と切り替えます。

TIN ボタン
このボタンを押すとナビゲーションとワンセグ TV を同時に映す TV-in-Navi になります。

番組表ボタン
このボタンをタッチすると、チャンネルリストが視聴中チャンネルの番組表に変わります。

REC ボタン
このボタンをタッチすると、視聴中のワンセグ TV を録画します。なお、データは本体のメモリに記録されます。

設定ボタン
このボタンをタッチすると、音声切り換え設定、字幕設定、チャンネルを設定する地域、画面サイズの設定を行うワンセグ TV 設定メニューが表示されます。

SD
SD：SD カードが挿入されています。
SD：SD カードが挿入されていません。

信号強度
受信しているワンセグ TV 用電波の強さを表します。

チャンネルリストバー
このバーをタッチして、リストに表示されていないチャンネルを表示させます。

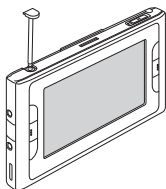
音量表示
音量を表示します。また、ここをタッチすると、音量が調整できます。

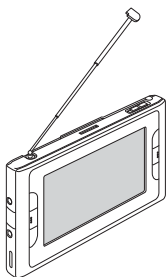
チャンネルリスト（録画リスト）
地域設定されている放送局をリストで表示します。または録画したデータがリストで表示されます。

スキャンボタン
このボタンをタッチすると、今いる地域で受信可能な局を検索します。

ワンセグ TV を視聴する前の準備

ワンセグ TV を視聴する前に、お使いになる地域に合わせて、チャンネルを設定する必要があります。

1 ワンセグ TV 用アンテナを伸ばす

アンテナを引き出す時は、無理な力を加えないでください。アンテナが折れたり、曲がったりします。

▼

ワンセグ TV 用アンテナは最後まで確実に引き出してください。

2 ワンセグ TV ボタンを押す

メインメニューからは [アイコン] をタッチします。

3 ワンセグを視聴しても問題のないときは、[**確認**] をタッチする

4 初めてお使いになる場合は、放送局の検索をするために、ワンセグメニューの [**設定**] をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に変わります。

5 地域設定の [**変更**] をタッチする

▼

地域設定の表示画面に変わります。

6 本機をお使いになる「地方」、「都道府県」、「お近くの場所」の順にタッチして、地域を選択する

7 [**決定**] をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に戻ります。

どの地域に設定すればよいかわからない場合には以下を実行してください。

1 ワンセグメニューの[**スキャン**]をタッチする

全チャンネルの検索を行います。
受信できるチャンネルが自動的にチャンネルリストに追加されていきます。
登録された放送局のうち、1番に表示された放送局を表示します。

注意

- **車両を運転中や歩行中にワンセグTVの準備はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

メモ

- 始めてワンセグをお使いの時は、「放送局が見つかりません」と表示されることがあります。全ての地域またはお住まいの地域を選択して受信できる局を検索してください。局の検索方法は、(→P75)「ワンセグTVの設定を変更する」を参照してください。
- 放送局の設定が済んでいるときは、手順**4**から**9**の操作は必要ありません。
- チャンネルの前に表示される番号は、本機のチャンネルリストに登録された順番です。したがって、地デジのチャンネルと異なります。

ワンセグTVを視聴する

注意

- **車両を運転中や歩行中にワンセグTVは見ないでください。交通事故の原因となることがあります。**
- **車両を運転中や歩行中にワンセグTVの操作はしないでください。交通事故の原因となることがあります。**

1 ワンセグTV用アンテナを伸ばす

2 ワンセグTVボタンを押す

メインメニューからは をタッチします。

3 ワンセグを視聴しても問題のないときは、[**確認**]をタッチする

4 ワンセグTVメニューのチャンネルをタッチする

選んだチャンネルが表示されます。ワンセグTVメニューは自動的に消えます。
表示されていないチャンネルは、チャンネルリストバーの▲▼を押して、表示することができます。

5 チャンネルを換えるには、タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグTVメニューを表示する

6 ワンセグTVメニューのチャンネルをタッチする

7 ワンセグ TV メニューを終了するには
ワンセグ TV メニューの [×] をタッチする

メインメニューが表示されます。

ワンセグ TV を録画する

視聴中のチャンネルを録画することができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が縮小され、ワンセグ TV メニューが表示されます。

3 [REC] をタッチする

録画が始まります。
縮小されている画面のどこかをタッチすると、ワンセグ TV が全画面表示されます。

4 録画を止めるには、[REC] を再度タッチする

ワンセグメニューが表示されていないときは、タッチスクリーンのどこかをタッチしてください。ワンセグメニューが表示されます。

注意

- 録画したデータは個人で楽しむ以外は、著作者に無断で使用することは著作権法で禁止されています。
- 録画したデータは内蔵メモリーへ記録されます。SD カードなど外部メモリーへは録画できません。

録画したワンセグ TV を見る

録画したワンセグ TV を再生して見ることができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面の上に、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ［**再生**］をタッチする

録画リストが表示されます。

3 再生するデータ名をタッチする

4 ［**再生**］をタッチする

再生が始まります。
［**再生**］が［**一時停止**］に変わります。

5 再生を止めるには、［**停止**］をタッチする

ワンセグメニューが表示されていないときは、タッチスクリーンのどこかをタッチしてください。ワンセグメニューが表示されます。
［**一時停止**］をタッチすると、再生が一時停止します。

6 チャンネルリスト表示に戻るには、［**TV**］をタッチする

メモ

- 録画したデータは、本機の映像再生では見ることはできません。

録画したワンセグ TV を消す

本機を使って録画したワンセグ TV のデータを消すことができます。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面の上に、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 [再生] をタッチする

録画リストが表示されます。

3 消したいデータ名をタッチする

4 [削除] をタッチする

確認画面が表示されます。

5 [はい] をタッチする

データを消去しない場合は、[**いいえ**] をタッチします。

TV-in-Navi

ナビゲーションの画面内にワンセグ TV を表示する TV-in-Navi ができます。

重要

- 自動車を運転中に本機でワンセグ TV を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。

1 ナビゲーション中は、ワンセグ TV ボタンを押す
ワンセグ TV 視聴中は、ワンセグ TV メニューを表示し、[TIN] をタッチする

視聴している画面が縮小され、ワンセグ TV メニューが表示されます。
ワンセグ TV の画面をタッチすると、ワンセグ TV の操作アイコンが表示されます。

▼

2 ワンセグ TV を操作するには、ワンセグ TV の操作アイコンをタッチする

[**CH UP**]：チャンネル番号の大きいチャンネルに移ります。
[**CH DWN**]：チャンネル番号の小さいチャンネルに移ります。
[**拡大**]：ワンセグ TV の画面を拡大します。
[**縮小**]：ワンセグ TV の画面を縮小します。
[**VOL UP**]：音量を大きくします。
[**VOL DWN**]：音量を大きくします。
[**終了**]：TV-in-Navi を終了し、ナビゲーションのみの表示になります。

3 ワンセグ TV を全画面表示にするには、ワンセグ TV ボタンを押す

ナビゲーションの画面は見えなくなりますが、ナビゲーションは働いています。
ワンセグ TV の操作アイコンの［**拡大**］を 2 度タッチしても、全画面表示にできます。

4 TV-in-Navi に戻るには、ワンセグ TV メニューを表示し、［**TIN**］をタッチする

5 ナビゲーションを全画面表示にするには、ナビゲーションボタンを押す

ワンセグ TV の画面は見えなくなりますが、音声はナビゲーションのバックグランドで聴こえます。
ナビゲーションの画面をタッチしても、全画面表示にできます。

6 TV-in-Navi 画面に戻るにはナビ画面上の［**TIN**］をタッチする

メモ

- ナビゲーションボタンを押すと、ワンセグ TV の画面がどのサイズのときでも、TV-in-Navi を中止できます。

視聴中の局の情報を見る

視聴中の局に関する番組表などの EPG（Electronic Program Guide：電子番組表）情報を見ることができます。
TIN 動作中はワンセグ TV 画面を全画面表示切り替えてください。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面が縮小され、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ［**番組表**］をタッチする

チャンネルリストが、視聴中の番組表に変わります。
視聴中の番組の内容が番組表の下に表示されます。

3 他の番組の内容を表示するには、番組名を選び、タッチする

4 チャンネルリストに戻るには、［**番組表**］をタッチする

メモ

- 局により EPG に表示される内容が違う場合があります。また、実際の放送と EPG に表示される番組が違うこともあります。

ワンセグ TV の設定を変更する

音声多重放送の出力方法、字幕のオン・オフ、視聴地域の設定、画面サイズの変更を行います。

1 タッチスクリーンのどこかにタッチし、ワンセグ TV メニューを表示する

視聴している画面の上に、ワンセグ TV メニューが表示されます。

2 ワンセグ TV メニューの［**設定**］をタッチする

▼

ワンセグ設定メニューの表示画面に変わります。

3 設定する内容に合わせ、各項目をタッチする

［**音声設定**］：主（主音声のみ）、副（副音声のみ）、主＋副（主音声と副音声同時）
［**字幕設定**］：オン（字幕表示オン）、オフ（字幕表示オフ）
［**地域設定**］：地域の設定。
地域を設定すると、その地域にあった県等が表示されます。
［**画面モード設定**］：FULL（全画面表示）、ワンセグ放送データをそのまま表示（320 × 240 or 320 × 180）、CINEMA（16:9 のシネマサイズ）。

4 ［**決定**］をタッチする

メモ

- 字幕をオン（字幕設定オン）にしても、視聴する番組によっては、字幕の無いものもあります。
- ［**スキャン**］をタッチすると地域設定を無視して全チャンネルスキャンを実行します。
- 音声と字幕の設定内容は、ワンセグ TV メニューにも表示されます。

データの再生と本機の設定

ユーティリティー
画像データを再生するには、ここをタッチします。また、ゲームや電卓の機能もあります。

音楽再生
音楽データを再生するには、ここをタッチします。

動画再生
映像データを再生するには、ここをタッチします。

設定
本機の設定を変更するには、ここをタッチします。

ナビゲーションから他のデータ再生へ切り換える

ナビゲーションから他のモードへ切り換えるには、メインメニューに戻る必要があります。
ワンセグ TV への切り換えはワンセグ TV ボタンを押しても切り換えることができます。

1 ナビゲーションメニューに戻り、[**設定**] をタッチする

2 [**終了**] をタッチする

3 確認ダイアログが開きますので、[**OK**] をタッチする

▼

ナビゲーションが終了して、メインメニューに戻ります。

4 メニューから切り換える他のモードのアイコンをタッチする

SD カードの取り扱い

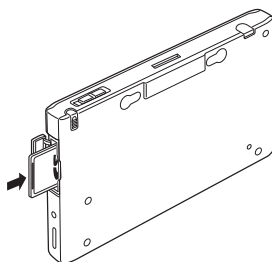
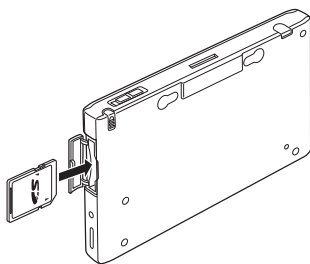
注意

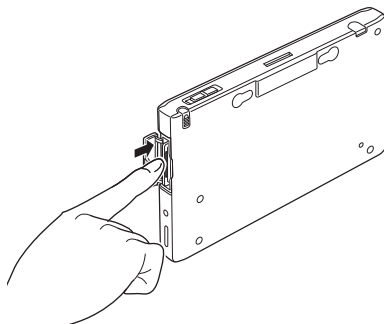
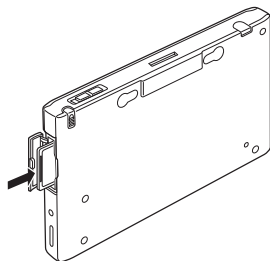
- SD カードを挿入してから電源を入れてください。また、SD カードは音楽・動画・写真などのデータをダウンロードする時を除いて、本機から取り外さないでください。SD カードまたはデータの破損や不具合の原因となることがあります。

メモ

- 新しい SD カードをお買い求めになるときは、下記推奨メーカーのものをお買いになる事をお勧めいたします。
  推奨メーカー：Panasonic、東芝、SanDisk、HAGIWARA、TRANSCEND。

1 本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめる

2 SD カードは向きに注意しながら、しっかりと本機に挿入する

3 SD カードが固定されるまで SD カードを押す

無理に SD カードを押し込むと、本機または SD カードを破損する恐れがあります。

4 SD カードを取り出すときは、本機の電源が切れていること、また充電中でないことを確かめてから、SD カードを押す

SD カードが出てきますので、SD カードを引き抜いてください。

注意

- 音楽、映像、写真は、SD カード内の Music、Movie、Photo の各フォルダーを作って、その中にデータを入れてください。
- 変形したり、傷ついた SD カードを本機に入れないでください。
- 万一、SD カードが取り出せなくなったときは、無理に取り出そうとせずに、サポートセンターにお問い合わせください。

再生するデータのダウンロードについて

用意した動画、音楽、写真データを本機内の SD カードへコピーして、本機にて再生させることができます。
SD カードへのコピーは SD カードの入った本機とパソコンを接続して行います。

1 SD カードの入った本機をパソコンに接続する

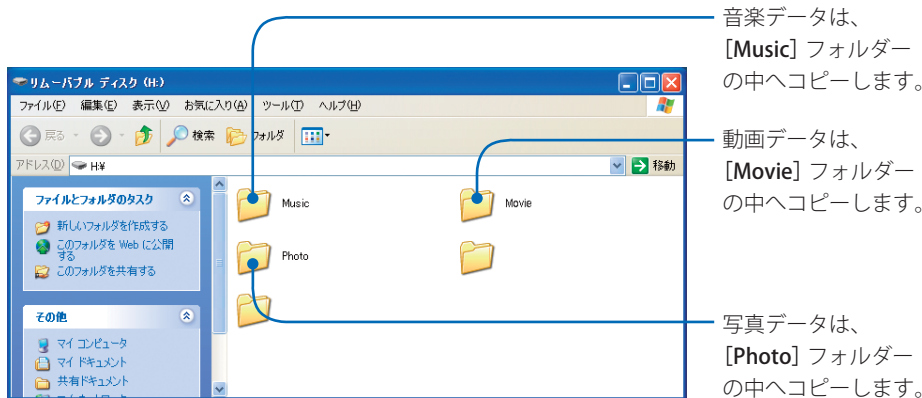
2 パソコンがリムーバブルディスクとして本機を認識したことを確認する

3 パソコンのエクスプローラの画面より、装着した SD カード（リムーバブルディスクとして表示）を選択して、内容を表示させる

SD カードスロットのあるパソコンの場合は、リムーバブルディスクと表示しない場合もあります。

4 各データを入れるために次のフォルダーを作る

Movie：動画データ用、Music：音楽データ用、Photo：写真データ用

5 作成したデータを本機の SD カードの各フォルダーの中へコピーする

- 再生できる動画データの条件は、次のようになります。
  対応ファイルフォーマット　：WMV、DIVX、MPG
  対応動画コーデック　　　　：MPEG4（Xvid1.0）、WMV
  対応音声コーデック　　　　：MP3/PCM（44.1kbps）、WMA
  （但し、データにより再生できない場合があります）

- 再生できる音楽データの条件は、次のようになります。
  対応コーデック：MP3 / ビットレート 8k ～ 370kbps
  OGG
  WMA / ビットレート 5k ～ 320kbps
  WAV

- 再生できる写真データの条件は、次のようになります。
  対応コーデック：JPEG、BMP
  最大ピクセル数：1000 × 800

メモ

- 再生条件に合わないデータは、[サポートしていないファイルです] と表示され、再生できません。

動画を再生する

データ名
再生のために選択されている
データ名が表示されます。

プログレスバー
再生の進行状況を表示します。

▶ または II ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンを押すと、再生を行います。

II ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンを押すと映像の再生を一時停止します。

■ボタン
このボタンを押すと、映像の最初に戻り、再生を停止し、動画リスト表示になります。

|◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ前の映像に戻ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ前の映像に戻っていきます。

音量表示
音量を表示します。
また、ここをタッチすると、音量が調整できます。

動画リスト移動ボタン
このボタンをタッチすると、動画リストに表示を切り替えます。

▶| ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の映像に移ります。続けて押すと、押すたびに、1 つ先の映像に戻っていきます。

動画の再生・停止

重要

- 自動車を運転中に本機で動画を操作すること、または画面を注視することは非常に危険です。操作、視聴をする場合には自動車を安全なところに停車させてから行ってください。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

2 動画を再生しても問題のないときは、[**確認**] をタッチする

▼

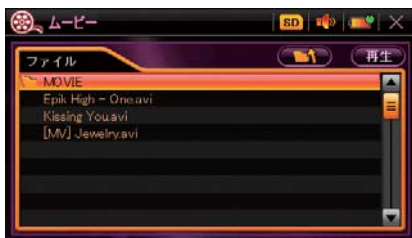
動画再生画面が表示されます。

3 をタッチする

▼

動画リストが表示されます。

4 再生したい動画が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい動画が入っているフォルダをタッチしてください。

１つ上のフォルダに戻るには、 をタッチします。

5 再生したい動画をタッチする

6 [**再生**] をタッチする

動画再生画面に戻り、再生を開始します。
再生できないデータを選んだ場合､「再生することができません。」と表示されます。

7 動画を一時停止するには、**II** をタッチする

アイコンが**II**から▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

8 動画を停止するには、■ をタッチする

再生を停止します。

9 他のデータを再生するには、手順 3 から始める

選ばれているデータを再生するには、再度 ▶ をタッチします。

メモ

- MPG および WMV ファイルの再生が可能
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- データ容量の大きなファイルは再生を開始するまで時間がかかります。

動画の早送り・早戻し・選択

1 動画の早送りをするには、プログレスバーの右端をタッチする

動画の早戻しをするには、プログレスバーの左端をタッチします。

2 1 つ先の動画に移るには、▶| をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の動画に移っていきます。

3 1 つ前の動画に移るには、|◀ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の動画に戻っていきます。

メモ

- 動画の再生中に |◀ をタッチすると、動画の最初に移動して再生を始めます。

音楽を聴く

音楽リスト
現在演奏中の曲を真ん中に表示します。
上は前の曲、下は次の曲を表示します。

プログレスバー
曲の進行状況を表示します。

リピートボタン
このボタンをタッチすると、全ファイルの再生繰り返しと再生中ファイルの繰り返しを切り換えることができます。

▶ または ‖ ボタン

▶ ボタン
このボタンは、停止中または一時停止中に表示されます。このボタンをタッチすると、再生を行います。

‖ ボタン
このボタンは、再生中に表示されます。このボタンをタッチすると音楽の再生を一時停止します。

■ボタン
このボタンをタッチすると、再生を停止します。

|◀ ボタン
このボタンをタッチすると、1つ前の曲に戻ります。続けてタッチすると、押すたびに、1つ前の曲に戻っていきます。

ランダム再生ボタン
このボタンをタッチすると、全ファイルを順次再生する方法とランダム再生と切り換えることができます。

音量表示
音量を表示します。また、ここをタッチすると、音量が調整できます。

音楽リスト移動ボタン
このボタンをタッチすると、音楽リストに表示を切り替えます。

▶| ボタン
このボタンをタッチすると、1つ先の曲に移ります。続けて押すと、タッチするたびに、1つ先の曲に移っていきます。

曲の再生・停止

1 メインメニューを表示させて をタッチする

▼

音楽再生画面が表示されます。

2 をタッチする

▼

音楽リストが表示されます。

3 再生したい曲が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい曲が入っているフォルダをタッチしてください。

１つ上のフォルダに戻るには、 をタッチします。

4 再生したい曲をタッチする

5 ［**再生**］をタッチする

音楽再生画面に戻り、再生を開始します。再生できないデータを選んだ場合、「再生することができません。」と表示されます。

6 再生を一時停止するには、**II** をタッチする

アイコンが**II**から▶に変わります。▶をタッチすると、一時停止したところより再生が始まります。

7 曲を停止するには、■ をタッチする

再生を停止します。

8 他のデータを再生するには、手順 3 から始める

選んだデータを再生するには、再度▶を タッチします。

メモ

- MP3、PCM、WMA および OGG ファイルの再生が可能
  ※但し、ファイルにより再生できない場合があります。
- 曲の再生中に、ナビゲーションを始めても曲の再生は続けることができます。ナビゲーションからの音声案内がある時は、音量が自動的に小さくなります。
- 選んだ曲の再生が終わると、リストの次の曲が再生されます。
- ランダム再生を選ぶと、順不同で音楽ファイル再生します。繰り返し同じファイルを再生する場合は、リピートボタンを押し、 の表示にしてください。

曲の早送り・早戻し・選曲

1 曲の早送りをするには、プログレスバーの右端をタッチする

曲の早戻しをするには、プログレスバーの左端をタッチします。

2 1つ先の曲に移るには、▶| をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1つ先の曲に移っていきます。

3 1つ前の曲に戻るには、|◀ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1つ前の曲に戻っていきます。

4 音楽リストの上側で表示されていない曲を表示させるには、音楽リストバーの上端をタッチする

音楽リストの下側で表示されていない曲を表示させるには、音楽リストバーの下端をタッチします。

メモ

- プログレスバーのポイントより、右側をタッチすると曲の早送りになり、左側をタッチすると曲の早戻しになります。
- 曲の再生中に |◀ をタッチすると、曲の最初に移動して再生を始めます。
- 繰り返し同じファイルを再生する場合は、リピートボタンを押し、 の表示にしてください。

ユーティリティーメニューの選択について

ユーティリティーメニューから写真データの再生、ゲーム、電卓機能を選択できます。

写真
写真データを再生するには
ここをタッチします。

ゲーム
ゲームで遊ぶにはここをタッチします。
ゲームは 3 種類入っています。

電卓
電卓を使うにはここを
タッチします。

写真を再生

写真リスト
再生可能な写真ファイルが
リストで表示されます。

写真リストバー
このバーをタッチ
して、リストに表
示されていない写
真を表示させます。

フォルダ移動
ここをタッチす
ることでフォル
ダの変更を行い
ます。

◀ ボタン
このボタンを押すと、1 つ
前の写真に戻ります。
続けて押すと、押すたびに
1 つ前の写真に戻ります。

全画面表示ボタン
このボタンを押す
と、写真が全画面
で表示されます。

スライドショーボタン
このボタンを押すと、
Photo ファイル内の写真
にてスライドショーが始
まります。

▶ ボタン
このボタンを押すと、1 つ先の写真に移ります。
続けて押すと、押すたびに 1 つ先の写真に移っ
ていきます。

写真の選択・表示

1 メインメニューを表示させて を タッチする

▼

ユーティリティー画面が表示されます。

2 [写真] をタッチする

▼

写真リスト画面が表示されます。

3 再生したい写真が入っているフォルダをタッチする

フォルダの中に更にフォルダが入っている場合もあります。その場合は再度再生したい写真が入っているフォルダをタッチしてください。

4 写真リストに表示された再生したい写真をタッチする

選んだ写真が表示されます。

5 1 つ先の写真に移るには、▶ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ先の写真に移っていきます。

6 1 つ前の写真に移るには、◀ をタッチする

続けて押すと、押すたびに、1 つ前の写真に戻っていきます。

7 写真リストの上側で表示されていない写真を表示させるには、写真リストバーの上端をタッチする

写真リストの下側で表示されていない写真を表示させるには、写真リストバーの下端をタッチします。

8 写真を全画面表示にするには、 をタッチする

[◀]：1 つ前の写真に戻ります。

[▶]：1 つ前の写真に戻ります。

[90/180/90]：表示中の写真を回転します。

[＋]：表示中の写真を拡大します。

[－]：表示中の写真を拡大します。

[ ]：リスト表示に戻ります。

操作部の表示は、自動的に消えます。再び表示するには、タッチスクリーンのどこかをタッチします。

9 写真リストの画面に戻るには、 をタッチする

操作部のが消えているときは、タッチスクリーンのどこかをタッチします。操作部が表示されます。

メモ

- データ容量の大きい写真は、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

スライドショーの表示

1 スライドショーを始めるには、写真リスト画面にて［**スライドショー**］をタッチする

2 スライドショーを止めるには、タッチスクリーンのどこかをタッチする

写真リストに戻ります。

ゲームで遊ぶ

1 メインメニューを表示させて をタッチする

ユーティリティー画面が表示されます。

2 ［**ゲーム**］をタッチする

ゲームの選択画面が表示されます。

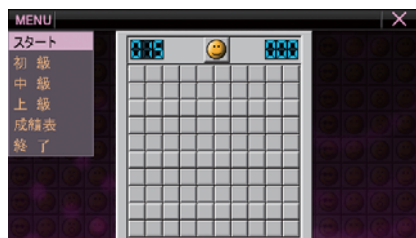
3 遊びたいゲームをタッチする

マインスイーパ

マス目の下に隠された地雷だけを残し、他のマス目を開けるゲームです。地雷のあるマス目には旗を立て、地雷が隠されているマス以外を全て開けると勝ちです。地雷のマスを開いた時点で負けです。

1 ［MENU］をタッチする

プルダウンメニューが表示されます。

2 ［MENU］プルダウンメニューから項目をタッチする

［**スタート**］：ゲームが始まります。

［初級］：ゲームを初級に設定します。マス目は 10 × 10 で、地雷が 15 個隠されています。
［中級］：ゲームを中級に設定します。マス目は 10 × 16 で、地雷が 25 個隠されています。
［上級］：ゲームを高級に設定します。マス目は 10 × 22 で、地雷が 45 個隠されています。
［成績表］：現在までの各級での最高タイムと名前を表示します。
［終了］：マインスイーパーを終了します。

3 地雷が無いと判断したマス目はタッチする

地雷が無いと、マス目が開き、隣接する地雷の数を表示します。この数をヒントに他のマスを開いていってください。
地雷が有るマス目を開くと、地雷が爆発します。全てのマス目が開き、ゲームが終了します。

4 地雷が有ると判断したマス目は、マス目の上に旗が表示されるまでマス目をタッチし続ける

地雷が有るか無いか分からない時は、もう一度タッチし続けて？を付けておきます。
？を付けたマス目をタッチし続けると、？が消えて元のマス目に戻ります。

5 最高タイムでゲームを終了すると、キーボートと名前のウインドが開くので、名前を入力する

6 ゲームをもう一度行うには、プルダウンメニューの［**スタート**］をタッチするか、マス目上の をタッチする

7 ゲームを終了するには、プルダウンメニューの［**終了**］をタッチする

バブル

同じ色のブロックが、上下または左右 2 個以上の繋がっている箇所をタッチすると消すことができます。消せるブロックが無くなったときがゲーム終了です。一度に多くのブロックを消すと高得点になります。また、全てのブロックを消すと高得点に繋がります。

1 同じ色のブロックが 2 個以上繋がった箇所をタッチする

［New Game］：ゲームが始まります。
［Option］：ゲームの設定を行います。Game level（ゲームのレベル）は、Easy（初級）、Moderate（中級）、Hard（上級）に設定できます。
Bubble select（ブロックの形）は、Round bubbles（丸いブロック）、Rectangles（四角のブロック）、Shape（形のみ）に設定できます。
Sound eanabled で効果音のオン・オフを行います。
［Score］：現在までの各級での上位 8 人の得点と名前を表示します。
［Exit］：ゲームを終了ます。

2 上位8人までの成績で終了すると、キーボートと名前のウインドが開くので、名前を入力する

3 ゲームをもう一度行うには、［**New Game**］をタッチする

4 ゲームを終了するには、［**Exit**］をタッチする

ブラックジャック

トランプゲームのブラックジャックと同じルールです。本機と対戦して数が 21 に近い方が勝ちです。

1 ［Play Black Jack］をタッチする

カードが配られます。

［HIT］：カードを受け取ります。
A（エース）は、11 として加算します。絵札は 10 として加算します。その他のカードは、その数字のまま加算します。
［STAND］：カードを受け取るのを止めます。

▼

勝つと「You Win」と表示されます。負けると「You Lose」と表示されます。

2 ゲームをもう一度行うには、［Play Black Jack］をタッチする

3 ゲームを終了するには、右上の［×］をタッチする

電卓機能を使う

1 メインメニューを表示させて をタッチする

▼

ユーティリティー画面が表示されます。

2 ［**電卓**］をタッチする

▼

電卓画面が表示されます。

3 電卓のキータッチして計算する

4 電卓を終了するには、右上の［×］をタッチする

設定を変更する

タッチスクリーンやボタンの明るさを設定したり、車の FM ラジオ使って本機の音声聴く FM トランスミッタや電源関係の設定ができます。また、タッチスクリーンの補正やアップグレードやシステムの初期なども行います。

電源設定
バッテリー状態の確認、スクリーンセーバー、電源を切る時間を設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

FM トランスミッタ設定
車などの FM ラジオを使って、本機から出る音声と同じ音声を聞くことができます。

一般設定
画面の輝度、音量、安全運行、ボタンの明るさを設定するときに、ここをタッチします。設定する画面が表示されます。

画面補正
実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をする為にここをタッチします。タッチ画面補正を行う画面が表示されます。

アップグレード
本機のファームウェアや OS をアップグレードするときに、ここをタッチします。アップグレードを行うかを確認する画面が表示されます。現在のファームウェアと OS のバージョンも表示されます。

システム初期化
本機のシステム設定を初期化し、お買い上げになった時とほぼ同じ状態にします。
※アップグレードを行った場合、一部お買い上げになった時と同じ状態にならない機能があります。

本機の一般的な設定を変更する

画面の輝度、画面オフ時間、オートパワーオフを設定することができます。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの をタッチする

▼

画面の輝度、音量、安全運行、ボタンの明るさの自動設定する画面が表示されます。

3 [**明るさ設定**] の [－]、[＋] をタッチして画面の輝度を設定する

[**音量設定**] の [－]、[＋] をタッチして音量を設定する

[**安全運行設定**] の [**ON**] または [**OFF**] をタッチして安全運行の設定を設定する

ON を設定すると、本機が GPS 衛星から信号を解析して走行している判断したとき、ワンセグ TV は表示せず、音声のみとなります。

[**ボタンの明るさ自動設定**] の [**ON**] または [**OFF**] をタッチしてボタンの明るさを自動で設定する

ON を設定すると、本機の内蔵時計に合わせてボタンの輝度を自動で設定します。

4 設定メニューに戻るには、右上の [×] をタッチする

電源に関する設定をする

本機で表示される時間を変更することができます。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの をタッチする

▼

バッテリー状態の表示、スクリーンセーバーの起動開始時間、電源終了の待機時間を変更する画面が表示されます。

3 [**スクリーンセーバ**] のバーをタッチして時間を設定する

設定した時間以上に本機の操作が無いと、スクリーンセーバー状態になります。画面のどこかをタッチすると、スクリーンセーバーは解除されます。

[**終了待機時間設定**] のバーをタッチして時間を設定する

電源ジャックが抜けている時に、設定した時間以上に本機の操作が無いと、本機の電源を自動的に切ります。

4 設定メニューに戻るには、右上の [×] をタッチする

メモ

- ナビゲーション、ワンセグ TV、動画再生、スライドショーを行っている間は、操作が無い時間とは判断されません。

FMトランスミッタを設定する

車などのFMラジオを使って、本機から出る音声と同じ音声を聞くことができます。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの をタッチする

▼

FMトランスミッタを設定する画面が表示されます。

3 ［**周波数設定**］の［←］、［→］または周波数表示をタッチしてFMトランスミッタの周波数を設定する

設定できる周波数は、87.0, 87.2, 87.4, 87.6, 87.8, 88.0, 88.2, 88.4, 88.6, 88.8, 89.0, 89.2, 89.4, 89.6, 89.8, 90.0 MHz です。
「周波数表示」を変更するには、変更したい「周波数表示」タッチして、［←］または［→］をタッチし周波数を変更してから［**更新**］をタッチしてください。

［**FMT設定**］の［**ON**］または［**OFF**］をタッチしてトランスミッタ機能のオン・オフを設定する

［**スピーカー**］の［**ON**］または［**OFF**］をタッチしてトランスミッタ時の内蔵スピーカーを設定する

ONに設定すると、FMトランスミッタのときに内蔵スピーカーからも音を出します。
OFFに設定すると、FMトランスミッタのときに内蔵スピーカーから音は出ません。

4 設定メニューに戻るには、右上の［×］をタッチする

注意

- FMトランスミッターのアンテナをシガー電源アダプターが兼用しているため、トランスミッターはシガー電源アダプターを使用した時のみ動作することに注意してください。

メモ

- ワンセグ、動画、音楽の再生時に表示される **FMT** をタッチしてもトランスミッター機能のオン・オフを切り換えることができます。

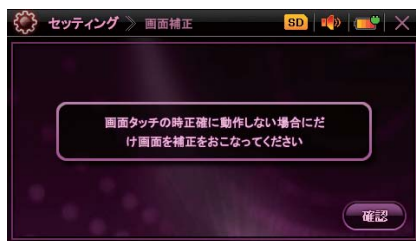
画面調整

実際にタッチした箇所と違う箇所が動作するようなときに、画面の調整をする為に使います。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの をタッチする

▼

画面調整をすることを確認する画面が表示されます。

3 ［**確認**］をタッチする

調整するためのターゲット（+）が画面中央に表示されます。

4 画面中央のターゲット（＋）をタッチする

ターゲットをタッチすると、ターゲットは中央→左上→左下→右下→右上の順に 4 隅を移動しますので、順次タッチしていってください。

5 調整が完了すると、メッセージが出ますので、タッチスクリーンのどこかをタッチすると新しい設定が登録される

何もしないで 30 秒たつと元の設定になります。

▼

設定画面に戻ります。
調整に失敗すると、再度ターゲットが中央に表示されますので、再度調整を行ってください。

メモ

- 調整が完了しても、実際にお使いになるときに、タッチする箇所と動作する箇所がずれる。または、何度やっても調整に失敗するような場合は弊社のサービスセンターにお問い合わせください。

本機をアップグレードする

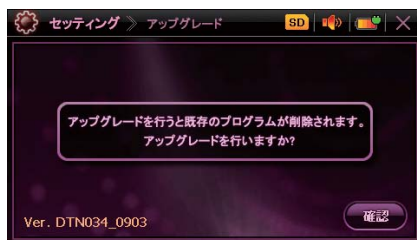
本機のファームウェアや OS は、アップグレードすることができます。

1 必要なファイルが入った SD カードを本機に挿入する

2 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

3 設定メニューの［アップグレード］をタッチする

▼

アップグレードを確認する画面が表示されます。

4 アップグレードする場合は、［確認］をタッチする

注意

- アップグレード中に電源を切らないでください。また、SD カードは抜き出させないでください。接続されている AC アダプターやシガー電源アダプターを抜かないでください。アップグレードが正しく行われず、本機が動かなくなる場合があります

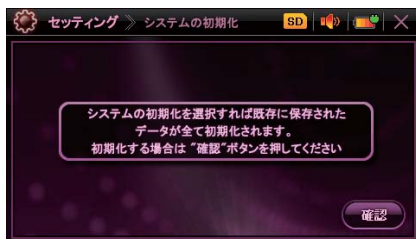
本機のシステムを初期化する

設定した内容を初期化し、ほぼお買い上げげになった状態に戻す機能です。

1 メインメニューを表示させて をタッチする

設定メニューが表示されます。

2 設定メニューの をタッチする

▼

システムを初期化する画面が表示されます。

3 初期化する場合は、[確認] をタッチする

注意

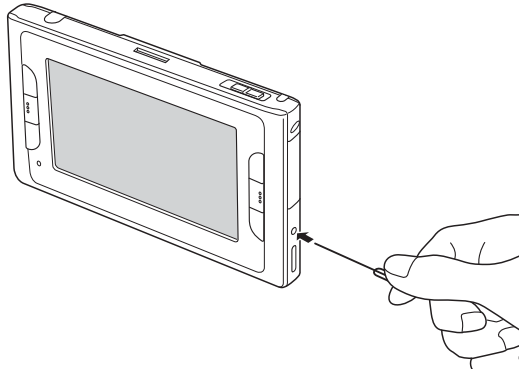
- 初期化中に電源を切らないでください。また、SD カードは抜き出させないでください。初期化が正しく行われず、本機が動かなくなる場合があります

メモ

- アップグレードを行った場合、初期化を行っても一部お買い上げになった時と同じ状態にならない機能や設定があります。

本機のリセット方法

1 本機右側面のリセットスイッチを押す

電源が一度切れ、再度電源が入ります。

工場出荷状態に戻ります。但し、ナビゲーションの各種の情報はリセットされません。

本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症　状	処　置
電源が入りません。	バッテリーが切れている場合があります。充電してください。
	電源スイッチを表示が出るまで、最後まで電源スイッチを左にスライドさせてください。電源スイッチは、誤って電源が入るのを防ぐために、電源スイッチが最後まで左にスライドしなければ電源が入らないようになっています。
電源スイッチを最後まで電源スイッチを左にスライドさせても、電源が入りません。	バッテリーが使い切られていませんか。充電をしてみてください。
電源を入れてから、メインメニューが表示されるまでに時間がかかります。	電源を入れると、通常のパソコンのように OS が立ち上がります。If Brand 表示が出ている間は OS が起動している最中です。
充電後本機が暖かくなります。	充電後本機は、多少暖かくなりますが、不具合ではありません。
実際の進行方向と自車マークとの向きが合っていません。	地図表示がノースアップになっていると北が常に上になります。実際の進行方向と自車マーク方向を合わせるには、地図表示をヘッドアップまたは 3D 表示にしてください。
ルート誘導が始まりません。	ルート誘導を始めるには、2 次元測位以上ができなくてはなりません。GPS 信号測位表示をご確認ください。特に周りに高いビルや木などがあり、GPS 衛星から信号が妨害されていることがあります。
検索を行う時に入力できない文字があります。	検索を行う時に入力できる文字は、本機内のデータと検証を行い、該当する文字のみ表示されます。したがって、入力された文字により、次に入力できる文字が制限されます。入力したい文字が表示されない場合は、入力した文字が間違っている可能性があります。入力した文字を訂正してみてください。
どうすればナビゲーションからメインメニューに戻れるか分かりません。	メインメニューボタンを押してください。または、「メニュー」をタッチし、ナビゲーションメニューから「設定」を選び、設定メニューの「終了」を選びます。

症　状	処　置
ナビゲーションで現在地が正しく表示されません。	GPS衛星からの信号(GPS信号)が正しく受信できていない場合があります。GPS信号を受信できる場所に移動してみてくだい。また、GPS信号を正しく受けるまでに、少し時間がかかる場合があります。
	位置がずれた場合は現在地を押してください。
音が出ません。	音量が最小になっている場合があります。音量の＋ボタンを押して音量を大きくしてください。
	FMトランスミッタの設定にて、内蔵スピーカーの設定をOFFにしていませんか。OFFに設定してFMトランスミッタの機能を働かせると、スピーカーからは音は出ません。
スピーカーから音が出ません。	イヤホン接続端子にイヤホンまたはヘッドホンが接続されていませんか。イヤホン等が接続されていると本機のスピーカーから音は出ません。
ワンセグTVが受信できません。	お住まいの地域とワンセグTVのチャンネル設定が合っていますか。チャンネル設定が合っていないと受信ができません。お住まいの地域に合うようにワンセグメニューの「設定」にて「地域設定」を行い、[**スキャン**]をタッチしてチャンネルの検索を行い設定を変えてください。
ワンセグTVでチャンネルリストに表示されている局が受信できません。	お住まいの地域を設定で選ぶと、電波状態により受信できない局もリストに表示されます。検索を使って、受信できる局のチャンネルリストを作り直してください。
	移動したことにより電波状態が変わります。少し移動してください。
	移動したことにより受信できる局が変わることがあります。再度、検索してみてください。
ワンセグTVの画像が停止することがあります。	電波状態が悪くなると、電波状態が良い最後の画像を保持するため、画像が停止します。ワンセグTV用アンテナの向きを変えるか、電波状態の良い場所に移動してください。
動画、音楽または写真データがリスト表示されません。	データが、SDカード内の正しいフォルダーに入っていない場合、各データ再生のアイコンをタッチしてもデータ名がリスト名に表示されないことがあります。
動画、音楽または写真データ再生ができません。	再生できる条件に合っていないことがあります。条件に合ったデータを正しいフォルダーに入れてください。

サポートセンターへのお問い合わせ方法

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DTN-V001」
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号(S/N)
- 再生したデータ形式(WMA、MP3、AVI、MPV、MPG、JPG 等)
- データを作成する際に使用したソフトウェアの名称
- 具体的なお問い合わせの内容
  行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。

お問い合わせ先：
トライウィンサポートセンター

電話：

0570-030-100

電子メール：

support@trywin.co.jp

受付時間：

月曜日～金曜日(祝日および当社の休日を除く)

午前 10:00 ～午後 6:00

住所：

〒 331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町 1-677

Web ページアドレス：

http://www.trywin.co.jp/

無償修理規定

取扱説明書(本書)、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理をさせていただきます。原則的に持込修理となります。

無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書を添えていただき、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお申し付けください。

保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取り扱いの不備、落下などによる故障、および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 保証書のご添付がない場合。
(ホ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句などを書き替えられた場合。
(ヘ) 船舶または業務用に使用された場合の故障および損傷。
(ト) 持込修理の対象商品を直接窓口へ送付した場合の送料等は、お客様のご負担となります。

保証書は国内においてのみ有効です。
(The warranty is valid only in Japan.)
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応および、その後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、トライウイン・サポートセンターまでお問い合わせください。

使用許諾契約書

重要 — 以下の使用許諾契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書(以下､「本契約書」といいます。)は、ポータブルナビゲーション DTN-V001(以下､「本製品」といいます。)用のアプリケーションソフトウェア、地図データ、検索情報データその他コンテンツ情報データ等(以下、「本ソフト」といいます)の使用権をお買い上げいただいたお客様(以下､「お客様」といいます。)とインクリメントＰ株式会社(以下､「弊社」といいます。)との間に締結される法的な契約書です。本ソフトをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、弊社は、お客様に本ソフトのインストールまたは使用のいずれも許諾できません。

1. 本ソフトの使用許諾

(1) 本ソフトは、著作権法をはじめ、その他の産業財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトの著作権その他産業財産権は、弊社または弊社に権利を許諾した第三者に帰属します。

(2) 弊社は、お客様が、本ソフトを一時点において 1 台の本製品でのみ使用することができる非独占的な権利をお客様に許諾します。

2. 制限事項

(1) お客様は、本契約書に明記されている場合を除き、本ソフトの一部または全部をインストール、複製、使用または改変等することはできません。

(2) お客様は、本ソフトの一部でも複製、抽出、転記、改変、公衆送信することまたは同時に 2 台以上の本製品で同時に使用することはできません。

(3) お客様は、有償・無償を問わず、本ソフトの一部または全部を第三者に譲渡、再使用許諾、貸与等することはできません。

(4) お客様は、本ソフトに関し、本契約書において許諾された以外の使用をすることはできません。

(5) お客様は、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルその他これらに準ずる行為を行うことはできません。

3. 保証

法律上の請求原因の種類を問わず、弊社は、本契約書または本ソフトに含まれるマニュアル等の文書に明記されている場合を除き、本ソフトを現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供するものとします。本ソフトの正確性、完全性、有用性、特定の目的に対する適合性、応答の的確性、使用結果、権利侵害の不存在および過失の不存在について、明示または黙示、あるいは法律上のものであることを問わず、一切保証できません。

4. 免責

弊社は、本ソフトの使用もしくは使用不能により、お客様または第三者に生じた特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害またはその他の一切の損害(逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、プライバシーの喪失、誠実または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、人身傷害またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定されません。)に関して一切責任を負いません。

5. 責任の制限

本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任の範囲は、本ソフトの使用もしくは使用不能により､お客様に直接かつ生ずべき損害(弊社が予見しまたは予見できた場合を含みます。)に限られるものとし、その賠償額は、本ソフトと同等の機能を有する弊社製品の標準的価格を限度とします。

6. 輸出規制

お客様は、すべての輸出入関連適用法令（関連する禁輸措置および制裁措置を含みます）を遵守することに同意されたものとします。

7. 契約の終了

（1）お客様が本契約中のいずれかの条項の一つに違反した場合、弊社からの通知を要することなく、自動的に本契約は終了します。
（2）本契約が終了した場合には、お客様は、自己が保存した本ソフト（本契約に違反して作成された複製物等を含みます。）の全てを消去するものとします。
（3）お客様は、理由の如何を問わず、本契約の終了について、弊社および弊社が使用許諾を受けている権利者に対して補償金その他如何なる目的での支払いも請求できないものとします。

8. 管轄裁判所

お客様と弊社との間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

9. 準拠法

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

10. 協議

本契約書に定めのない事項または本契約書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、お客様および弊社は、信義に従い誠意をもって協議し解決するものとします。

以上

仕様

寸法	（W）134 ×（H）79 ×（D）14（突起物を含まず）
質量（重量）	約 184 g（内蔵充電池含む、SD カード含まず）
スクリーン	4.1inch 有機 EL タッチパネル
メモリー	SD/MMC メモリーカード
電源	1500mAh リチウムポリマーバッテリー
CPU	AU1210（MIPS32, 500MHz）
GPS モジュール	HOST GPS Engine（Nemerix）
アンテナ	本体内蔵式
Operating System	Windows® CE 5.0
動作温度保証範囲	-20℃～ +60℃（バッテリー動作時）